

こんなことができます

ピアノを楽しむ

♪ いろいろな音色で演奏する

8 ページ

このピアノにはコンサート用グランドピアノからピアノ以外の楽器まで、さまざまな音色が内蔵されています。演奏する曲や気分に合わせて、好みの音色を選ぶことができます。また、2つの音色を重ねて演奏することもできるので、自分だけのお気に入りの組み合わせを見つけることもできます。

♪ 内蔵曲を聴いて練習する

13 ページ

このピアノにはクラシックやジャズ、練習曲など、さまざまなジャンルの名曲が内蔵されています。内蔵曲の演奏をお手本にして練習することができます。また、内蔵のメトロノームを使うことで、リズムに合わせて演奏する感覚を養うことができます。

♪ スマートフォンの曲に合わせて練習する (Bluetooth® Audio 機能)

14 ページ

スマートフォンやタブレットと Bluetooth 接続して、お気に入りの曲をピアノのスピーカーから鳴らすことができます。憧れのミュージシャンの演奏に合わせて楽しむこともできます。

♪ 演奏を録音する

15 ページ

自分で弾いた演奏を録音し、再生して確認することができます。自分の演奏をその場で聴き返して、次の演奏に活かしたり、作品として USB メモリーにコピーして残したりすることもできます。

ピアノを調節する

♪ 鍵盤のタッチ感を変える (キータッチ)

10 ページ

演奏者の好みに合わせて、鍵盤を弾いたときのタッチ感を調節できます。

♪ 他の楽器と音の高さを合わせる (マスターチューニング)

17 ページ

他の楽器とアンサンブルするときなど、ピアノの基準ピッチを他の楽器に合わせるすることができます。

♪ 自分だけのピアノを作る (ピアノデザイナー)

17 ページ

ピアノの音の要素を調節して、好みのピアノの音を作ることができます。

♪ お気に入りの設定を登録する

11 ページ

お好みの設定を登録して、演奏する曲や演奏者ごとに設定を瞬時に切り替えることができます。

一歩進んだ楽しみかた

アプリと接続してさまざまな付加機能を楽しむ (Bluetooth® MIDI 機能)

19 ページ

このピアノを Roland 製アプリと Bluetooth 接続することで、Roland Cloud から新しい曲を見つけたり、電子譜面などの練習サポート機能を使ったりすることができ、新しいピアノ演奏の世界を体験できます。

クイック・ガイド

音色を選ぶ

このピアノでは、さまざまな音色で演奏を楽しむことができます。



1. 音色ボタンを押して、音色グループを選びます。

音色ボタン	説明
グランド	グランドピアノの音色
アップライト／クラシカル	アップライトピアノやフォルテピアノ、ハーブシコードの音色
E. ピアノ／オルガン	エレクトリック・ピアノやオルガンの音色
サウンドコレクション	おたのしみ (*), 弦楽器、ドラムなどのさまざまな音色

(*) LX-6GP オリジナル・コンテンツ

2. [-] [+] (選択) ボタンで音色を選びます。

→「音色一覧」(P.32) をご覧ください。

メトロノームを使う

メトロノームを鳴らしながら、練習することができます。



1. [M] (メトロノーム) ボタンを押します。

2. [J] (テンポ) ボタンを押します。

3. [-] [+] ボタンでテンポを選びます。

メモ

拍子の変更のしかたについては、「メトロノームを使って練習する」(P.12) をご覧ください。

4. メトロノームを止めるときは、もう一度 [M] ボタンを押します。

録音する

自分で弾いた演奏を録音し、再生して確認することができます。



1. [●] (録音) ボタンを押します。

2. [▶/■] (再生/停止) ボタンを押します。

1 小節のカウントが鳴ってから録音が始まります。

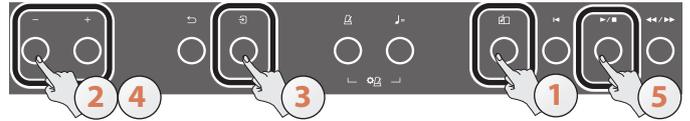
3. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

4. 録音した曲を聴くときは、[▶/■] ボタンを押します。

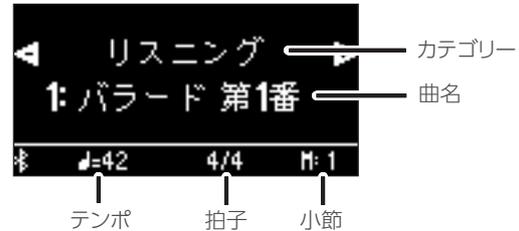
2

曲を選ぶ/再生する

曲に合わせて演奏することができます。



1. [曲] (曲) ボタンを押します。



2. [-] [+] ボタンで曲のカテゴリーを選びます。

カテゴリー	説明
リスニング	リスニングにおすすめのピアノ曲
GP コレクション (*1)	練習が楽しくなる人気曲を集めました。
アンサンブル (*2)	クラシックを中心とした名曲。ピアノ協奏曲、連弾、クラシックのジャズ・アレンジなども楽しめます。弾きごたえのある曲を集めましたので、初中級レベル以上のかたにおすすめです。
エンターテイメント (*2)	ポップス、ジャズ、童謡、世界の名曲など、初心者から上級者まで幅広いかたに楽しんでいただけるアレンジになっています。
ドレミでうたおう (*2)	曲に合わせてドレミで歌ったり、楽譜を読む練習をしたりして音楽の基礎を学びます。
スケール (*2)	スケール全調 (メジャー・スケール、マイナー・スケール)
ハノン	ハノン・ピアノ教本より第 1 ~ 20 番
バイエル	バイエル・ピアノ教則本第 1 ~ 106 番
ブルグミュラー	ブルグミュラー 25 の練習曲
ツェルニー 100 番	ツェルニー 100 番の練習曲
USB メモリー	USB メモリーに保存した曲
内部メモリー	内部メモリーに保存した曲

(*1) LX-6GP オリジナル・コンテンツ

(*2) 同梱の楽譜集「ローランド ピアノ名曲集」に対応しています。

著作権の都合上、「エンターテイメント」カテゴリーの一部の曲は楽譜集に掲載されていません。

3. [決定] (決定) ボタンを押します。

4. [-] [+] ボタンで曲を選びます。

→「内蔵曲一覧」(P.34) をご覧ください。

5. [▶/■] ボタンを押します。

曲が再生されます。

6. 曲を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

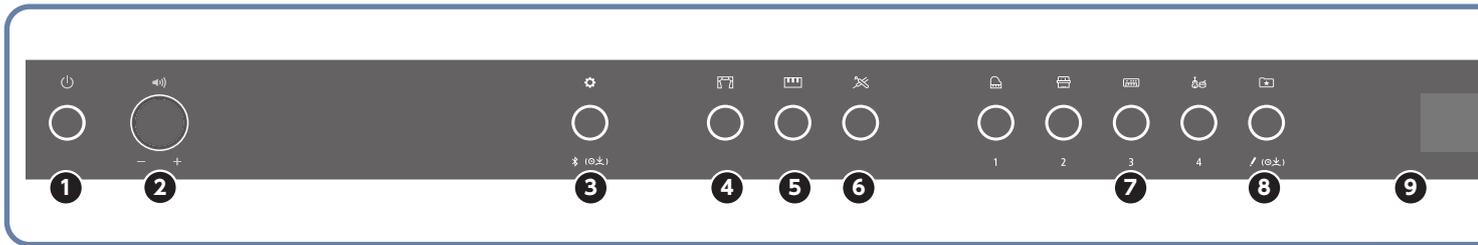
7. 曲の設定を終了するときには、[曲] ボタンを押します。

目次

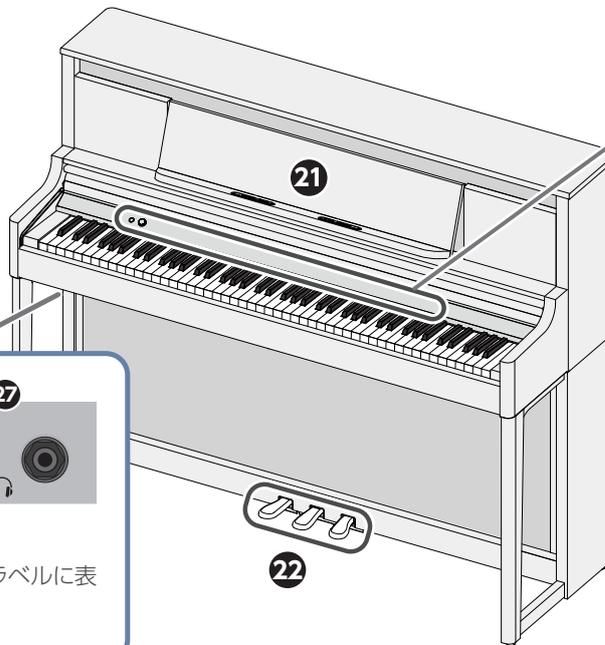
クイック・ガイド	2
音色を選ぶ	2
メトロノームを使う	2
録音する	2
曲を選ぶ／再生する	2
各部の名称とはたらき	4
演奏する前に	6
電源を入れる／切る (鍵盤蓋を開く／閉じる)	6
操作パネルを点灯／消灯させる	6
音の大きさを調節する	6
機能を使うときの基本操作	7
譜面立てを使う	7
ヘッドホンを使う	7
ペダルを使う	7
演奏する	8
いろいろな音で演奏する	8
音色を選ぶ	8
音の響きの種類と深さを選ぶ	8
右手と左手を違う音色で演奏する (スプリット)	9
1つの鍵盤で2つの音色を重ねて演奏する (デュアル)	9
鍵盤の設定をする	10
移調して演奏する (鍵盤の移調)	10
鍵盤のタッチ感を変える (キータッチ)	10
鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節する (ハンマーレスポンス)	10
お気に入りの設定を登録する	11
現在の演奏設定を登録する	11
お気に入りの設定を呼び出す	11
お気に入りの設定を初期化する	11
メトロノームを使って練習する	12
メトロノームを鳴らす	12
リズム・パターンを鳴らす	12
曲を聴く	13
内蔵曲を再生する	13
モバイル機器の曲を再生する (Bluetooth オーディオ)	14
初期設定をする (ペアリング)	14
曲を再生する	14
演奏を録音する	15
鍵盤で弾いた曲を録音する	15
録音した曲を削除する	15
さらに進んだ録音方法	16
片手ずつ演奏を録音する	16
録音した演奏に重ねて録音する	16
お好みのピアノの音を作る (ピアノデザイナー)	17
ピアノ全体の音の調節をする	17
グランドピアノ音色を調節する	18
アプリと接続してさまざまな付加機能を楽しむ (Bluetooth MIDI)	19
初期設定をする (ペアリング)	19
アプリとの接続がうまくいかないときは?	20

便利な機能	21
メモリーを初期化する (メディアのフォーマット)	21
お買い上げ時の設定に戻す (ファクトリーリセット)	21
電源を入れ直しても記憶している設定	22
ボタンが効かないようにする (パネル・ロック)	22
ピアノの設定を読み込む／保存する	23
お気に入りの設定またはピアノの設定を保存する (お気に入り設定の保存／ピアノ設定の保存)	23
お気に入りの設定またはピアノの設定を読み込む (お気に入り設定の読み込み／ピアノ設定の読み込み)	23
いろいろな設定をする	24
ファンクション・モード	24
Bluetooth 機能をオン／オフする (Bluetooth オン／オフ) ..	24
Bluetooth オーディオの音量を調節する (Bluetooth ボリューム)	24
再生する曲を移調する (曲の移調)	24
曲 (SMF) の音量を調節する (曲ボリューム SMF)	24
曲 (オーディオ) の音量を調節する (曲ボリューム AUDIO) ..	24
オーディオ再生機器の音量を調節する (インプットボリューム) ..	24
パソコンからの音量を調節する (USB Audio インプットボリューム) ..	24
曲 (SMF) 再生時の鍵盤の音色を設定する (SMF 再生モード) ..	25
曲再生や録音開始前のカウント小節数を変える (カウントイン小節) ..	25
ペダルの効果のかけかたを変える (右ペダルパート)	25
ペダルのはたらきを変える (中央ペダル機能)	25
ペダルの効果のかけかたを変える (中央ペダルパート)	26
ペダルの効果のかけかたを変える (左ペダル機能)	26
ペダルで「お気に入りの設定」を切り替える (お気に入り設定ペダル切替)	26
シーケンサーと接続したときの2度鳴りを防ぐ (ローカルコントロール) ..	26
MIDI 送信チャンネルを変える (MIDI 送信チャンネル)	26
ディスプレイの明るさを調節する (ディスプレイコントラスト) ..	26
操作パネルが暗くなるまでの時間を設定する (スクリーンセーバー) ..	26
操作パネルのクリック音を設定する (タッチクリック音量)	27
音量の最大値を設定する (ボリュームリミット)	27
鍵盤蓋を閉めたときに電源をオフにする (鍵盤蓋による電源オフ) ..	27
ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音を出す (スピーカーオートミュート) ..	27
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オートオフ) ..	27
ピアノのシステム・プログラム・バージョンを確認する (バージョン) ..	27
鍵盤モード	28
右手と左手を違う音色で演奏する (スプリット演奏)	28
1つの鍵盤で2つの音色を重ねて演奏する (デュアル演奏) ..	28
鍵盤を2つに分けて演奏する (ツインピアノ)	28
故障かな?と思ったら	29
こんな表示が出たら (エラー・メッセージ)	31
音色一覧	32
内蔵曲一覧	34
リズム・パターン一覧	36
安全上のご注意	37
使用上のご注意	38
主な仕様	39

各部の名称とはたらき



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



1 [⏻] (電源) ボタン

電源をオン/オフします (P.6)。
鍵盤蓋を開閉することで、電源をオン/オフすることもできます。

2 [🔊] (音量) つまみ

ピアノ全体の音量を調節します (P.6)。
ヘッドホンを接続しているときは、ヘッドホンの音量を調節します。

3 [⚙️] (設定) ボタン

いろいろな設定を変更できるファンクション・モードになります (P.24)。

4 [🎵] (アンビエンス) ボタン

音にコンサート・ホールや大聖堂などで演奏しているような響きをつけます。アンビエンスの種類を変えることで、ピアノをさまざまな場所で弾いたときの音の響きを再現できます (P.8)。

5 [🎹] (鍵盤モード) ボタン

鍵盤のいろいろな設定を変更できる鍵盤モードになります (P.28)。

6 [🎹] (ピアノデザイナー) ボタン

ピアノのさまざまな音の要素を調節して、お好みのピアノの音を作ることができます (P.17)。

7 音色ボタン

- [🏠] (グランド)
- [🎹] (アップライト/クラシカル)
- [🎹] (E. ピアノ/オルガン)
- [🎹] (サウンドコレクション)

鍵盤で鳴らす音色を選びます (P.8)。

[🎵] (お気に入り設定) ボタンを押すと、[1] [2] [3] [4] ボタンに切り替わります。

8 [🎵] (お気に入り設定) ボタン

お気に入り設定を選んだり、登録したりできます (P.11)。

9 ディスプレイ

音色名、曲名、テンポ、拍子などを表示します。

10 [-] [+] (選択) ボタン

画面に表示されている項目や値を変更します (P.7)。

11 [↶] (戻る) ボタン

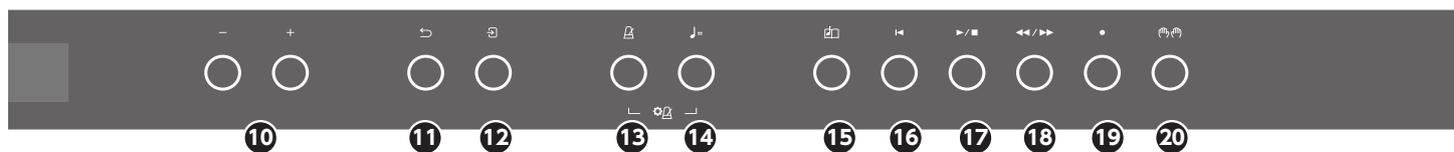
1 つ前の画面に戻ったり、現在の画面から抜けたりします (P.7)。

12 [✔] (決定) ボタン

画面に表示されている項目や値を決定します (P.7)。

13 [🎵] (メトロノーム) ボタン

メトロノームをオン/オフします (P.12)。



14 [J=] (テンポ) ボタン

メトロノームや曲のテンポを変更します。

- メトロノームのテンポを変える (P.12)
- 曲のテンポを変える (P.13)

15 [曲] (曲) ボタン

再生する内蔵曲や録音した演奏を選びます (P.13)。

16 [I<] (頭出し) ボタン

曲の先頭を選びます (P.13)。

17 [▶/■] (再生/停止) ボタン

曲の再生/停止や、録音の開始/停止をします (P.13、P.15)。

18 [◀/▶] (小節) ボタン

曲の小節を好きな位置に進めたり、戻したりします (P.13)。

19 [●] (録音) ボタン

鍵盤で弾いた演奏を録音します (P.15)。

20 [🎹🎹] (パート) ボタン

内蔵曲の演奏パート(右手/左手/伴奏)を選んで再生します。また、パートを分けて録音することもできます (P.13、P.16)。

21 譜面立て

楽譜を置きます (P.7)。

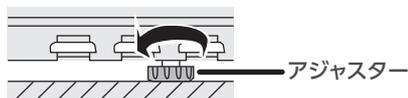
22 ペダル

ペダルを踏むと、ピアノの音に効果を加えることができます。また、さまざまな機能を割り当てて使うこともできます。

- ピアノの音に効果を加える (P.7)
- ペダルに機能を割り当てて使う (P.25)

注意

ペダルの下には、ペダルを固定するアジャスターがあります。使用するにつれてアジャスターが上がり、ペダルを踏んだときにぐらつくことがあります。この場合は、アジャスターを回して下げ、床に当たるように調節してください。特にカーペットの上に設置するときは、床を押し付けるぐらいに下げてください。



23 USB Computer 端子

市販の USB ケーブルで、パソコンと接続します。パソコンのシーケンサー・ソフトウェアと演奏情報をやりとりして、音楽制作や編集などを行うことができます。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

24 USB Memory 端子

市販の USB メモリーを接続します。USB メモリーに保存してある音楽データ(WAVE ファイル/MIDI ファイル/MP3 ファイル)をピアノで再生したり、ピアノの演奏をオーディオ録音したりします (P.13、P.25)。

25 Input 端子

市販のステレオ・ミニプラグ・ケーブルで、スマートフォンやオーディオ・プレーヤーと接続します。スマートフォンなどで再生した音を、ピアノのスピーカーから鳴らすことができます。また、再生した曲に合わせてピアノを演奏することもできます。

26 Output 端子 (L/Mono、R)

市販のモノラル標準プラグ・ケーブルで、外部スピーカーなどと接続します。外部音響機器を使うと、大人数を前に演奏する場合に便利です。

27 ヘッドホン端子

ステレオのヘッドホンを接続します。このピアノにはヘッドホン端子が 2 つあるので、2 人同時にヘッドホンを使うことができます (P.7)。

コード類の接続とアジャスターの調節

注意

ピアノの電源を入れる前に、AC アダプター、ペダル・コード、スピーカー・ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

また、ペダルの下にあるアジャスターが床に当たるよう調節されていることを確認してください。

※ コード類は、ピアノのリア・ボードを取り付ける前に接続します。

→ コード類の接続やアジャスターの調節方法は、別紙『スタンドの組み立てかた』をご覧ください。以下の URL から PDF マニュアルでもご覧いただけます。

<https://www.roland.com/jp/manuals/>

演奏する前に

電源を入れる／切る（鍵盤蓋を開く／閉じる）

このピアノは、鍵盤蓋の開け閉めで電源をオン／オフすることができます。鍵盤蓋を開けたまま、[⏻] ボタンを押して電源をオン／オフすることもできます。

※ ピアノに外部スピーカーなどの機器を接続している場合は、鍵盤蓋を開閉する前に機器の音量を最小にしてください。

※ 鍵盤蓋は、両手で開け閉めしてください。

電源を入れる（鍵盤蓋を開く）

1. 鍵盤蓋を開きます。

自動的に電源が入ります。



電源を切る（鍵盤蓋を閉じる）

1. 鍵盤蓋を閉じます。

自動的に電源が切れます。

メモ

ファンクション・モード (P.24) で「鍵盤蓋による電源オフ」(P.27) の設定を「無効」にすると、鍵盤蓋を閉めても電源が切れないようにできます。

※ 鍵盤蓋を開閉するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

※ 鍵盤蓋の上に物（紙や金属など）を置いたまま、蓋を開けないでください。本体の中に入って、取り出せなくなることがあります。

※ 電源を入れてから、本機が起動するまでは操作パネルのタッチ・スイッチ（ボタン）に触れないようにしてください。タッチ・スイッチが反応しなくなる恐れがあります。

※ 操作パネルが結露した状態では使用しないでください。タッチ・スイッチが誤動作する恐れがあります。

オートオフ機能について

このピアノは、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オートオフ機能）。

自動的に電源が切れないようにするには、オートオフ機能を解除してください (P.27)。

- 電源が切れると編集集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください (P.22)。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

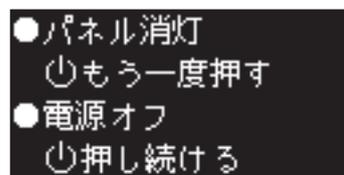
操作パネルを点灯／消灯させる

操作パネルとディスプレイを消灯させ、演奏に集中することができます。

操作パネルを消灯させる

1. 電源が入った状態で [⏻] ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



2. もう一度 [⏻] ボタンを押します。

操作パネルとディスプレイが消灯します。

メモ

操作パネルが消灯しているときは、[◀▶] つまみと [⏻] ボタンのみ操作することができます。

操作パネルを点灯させる

1. 操作パネルとディスプレイが消灯している状態で、[⏻] ボタンを押します。

操作パネルとディスプレイが点灯します。

音の大きさを調節する

[◀▶] つまみを回して音の大きさを調節します。

スピーカーとヘッドホンの音量は、別々に設定することができます。ヘッドホンを接続しているときは、自動的にヘッドホンの音量調節に切り替わります。



機能を使うときの基本操作

このピアノの機能を使うときは、[-] [+] (選択) ボタン、[↵] (決定) ボタンと [←] (戻る) ボタンで操作します。



画面に表示される項目/値を変更する	[-] [+]	ボタンを押す
決定する	[↵]	ボタンを押す
1つ前の画面に戻る/現在の画面から抜ける	[←]	ボタンを押す
値を初期値に戻す	[↵]	ボタンを長押しする

譜面立てを使う

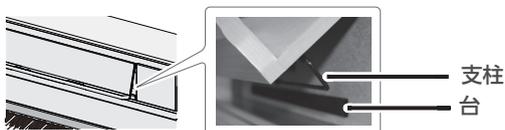
注意

譜面立てを引く/戻すときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

1. 譜面立てをゆっくりと手前に引きます。

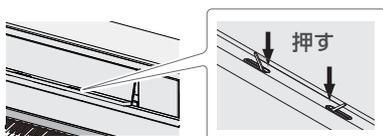


2. 譜面立て背面にある支柱を上げてから台に乗せます。



3. 譜面押さえを立てます。

※ 使用しないときは、譜面押さえを倒しておきます。



ヘッドホンを使う

周囲に音が漏れないように演奏したいときは、ヘッドホンを使います。このピアノにはヘッドホン端子が2つあるので、2人同時にヘッドホンを使うことができます。

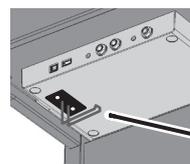
1. ヘッドホンをヘッドホン端子に差し込みます。

ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が鳴らなくなります。

2. ヘッドホンの音量を、[🔊] つまみで調節します。

メモ

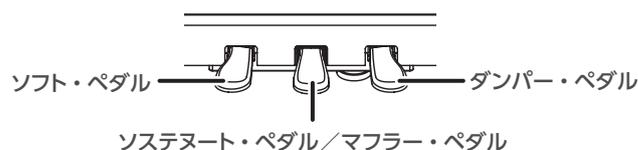
ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホン・フックにかけておくことができます。



ヘッドホン・フック

ペダルを使う

ペダルを踏むと、ピアノの音に効果を加えることができます。



ダンパー・ペダル (右)	音に余韻を与えます。 このペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音が切れずに長い余韻が続きます。踏む深さによって、音の響きが変わります。
ソステナート・ペダル / マフラー・ペダル (中央)	アップライトピアノ音色以外を選択時 ソステナート・ペダルとして動作します。 このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけに余韻を与えます。 アップライトピアノ音色選択時 マフラー・ペダルとして動作します。 このペダルを踏むと、ピアノハンマーと弦の間にフェルトが入り弱く柔らかな音になるしくみを再現します。 ソフト・ペダルに比べると、より弱く柔らかな音色になります。 ※ アップライトピアノ音色選択時でも設定を切り替えることで、ソステナート・ペダルとして動作させることもできます ([中央ペダル機能] (P.25))。
ソフト・ペダル (左)	音に柔らかさを与えたいときに使います。 このペダルを踏んだまま鍵盤を弾くと、通常同じ強さで弾いたときの音よりも柔らかい音が出ます。踏む深さによって、音の柔らかさが微妙に変わります。

※ ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

演奏する

いろいろな音で演奏する

音色を選ぶ

このピアノでは、ピアノやピアノ以外のさまざまな音色で演奏を楽しむことができます。音色には4つのグループがあり、それぞれ音色ボタンを押して選びます。

→「音色一覧」(P.32)

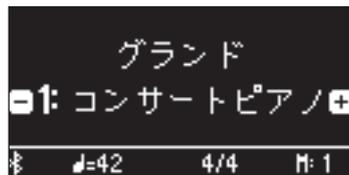
音色のグループ

音色ボタン	説明
 グランド	グランドピアノの音色
 アップライト/ クラシカル	アップライトピアノやフォルテピアノ、ハーブシコードの音色
 E. ピアノ/ オルガン	エレクトリック・ピアノやオルガンの音色 ※ 音のうねり(ロータリー効果)がかかるオルガン音色を選んでいるときに [E. ピアノ/Organ] ボタンを押すと、うねりの速さを変えることができます。
 サウンドコレクション	おたのしみ(*), 弦楽器、ドラムなどのさまざまな音色

(*) LX-6GP オリジナル・コンテンツ

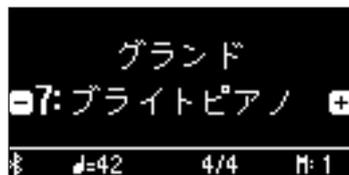
1. 音色ボタンを押します。

音色のグループが選ばれます。現在選ばれている音色名が表示されます。



2. [-] [+] ボタンを押します。

音色グループ内の他の音色が選べます。



メモ

電源を入れている間は、音色ボタンごとに、直前に選んでいた音色が記憶されます。事前に音色ボタンごとに音色を選んでおけば、瞬時に音色を切り替えることができます。

アップライト音色選択時に中央ペダルを使う

アップライト音色選択時には、画面にマフラー・ペダルのアイコンが表示されます。アイコン表示中に中央ペダルを踏むことで、マフラー・ペダル効果のオン/オフを切り替えられます(P.7)。



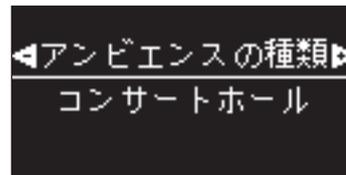
音の響きの種類と深さを選ぶ

音にコンサート・ホールや大聖堂などで演奏しているような響き(アンビエンス)をつけます。アンビエンスの種類を変えることで、楽器をさまざまな場所で弾いたときの音の響きを再現できます。

※ オーディオ・ファイルに音の響き効果はかかりません。

1. [F7] ボタンを押します。

アンビエンス画面が表示されます。



2. [-] [+] ボタンで設定したい項目を選び、[2] ボタンを押します。

項目	説明/設定値
アンビエンスの種類	さまざまな場所で楽器を弾いたときの音の響きの種類を選びます。 スタジオ、ラウンジ、コンサートホール、リサイタルホール(*), 室内楽ホール(*), 大聖堂
キーボードアンビエンス	音の響きの深さを調節します。数字が大きいほど音の響きが深くなります。 0 ~ 10
音の明るさ	数字が大きいほど明るい音になります。 -10 ~ 0 ~ +10
ピアノ・リアリティ・ヘッドホン・アンビエンス	ヘッドホン使用時でもピアノ本体から音が聞こえるような効果をかけることができます。 ※ ピアノ・リアリティ・ヘッドホン・アンビエンスは、アンビエンスの種類が「コンサートホール」のときのみ有効となります。 オフ、オン(初期値:オン)

(*) LX-6GP オリジナル・コンテンツ

3. [-] [+] ボタンで値を選びます。

4. 設定を終了するときには、[F7] ボタンを押します。

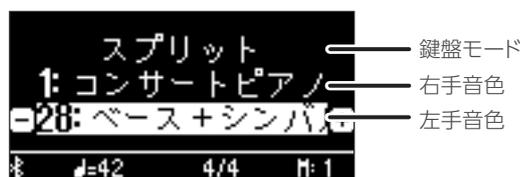
[F7] ボタンが消灯します。

右手と左手を違う音色で演奏する (スプリット)

ある鍵を境に鍵盤の右側と左側で違う音色で演奏することができます。このような演奏を「スプリット演奏」といい、鍵盤が分かれる位置を「スプリット・ポイント」といいます。

1. **[F4]** ボタンを押します。
2. **[-] [+]** ボタンで「鍵盤モード」を選び、**[F2]** ボタンを押します。
3. **[-] [+]** ボタンで「スプリット」を選び、**[F4]** ボタンを押します。

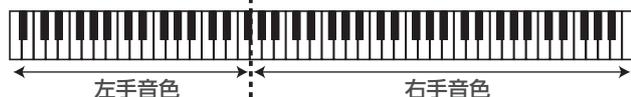
スプリット画面が表示されます。



電源投入時は、右手音色は「コンサートピアノ」、左手音色は「ベース+シンバル」が選ばれています。

スプリットがオンになると、鍵盤設定は以下のようになります。

スプリット・ポイント (電源投入時: F#3)



4. スプリット演奏を終了するときは、手順 1～3 の操作をして「全鍵」を選びます。

スプリット演奏の設定を変更する

スプリット演奏時の音色の設定は、スプリット画面を表示した状態で操作します。

操作方法	
左手音色を変える	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左手音色にカーソルを合わせた状態で、音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 2. [-] [+] ボタンで音色を選ぶ。
右手音色を変える	<ol style="list-style-type: none"> 1. [F2] ボタンを押して、右手音色にカーソルを合わせる。 2. 音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 3. [-] [+] ボタンで音色を選ぶ。

メモ

その他の設定項目については、「鍵盤モード」(P.28) をご覧ください。

1つの鍵盤で2つの音色を重ねて演奏する (デュアル)

1つの鍵盤で、2つの音色を重ねて演奏することができます。このような演奏を「デュアル演奏」といいます。

1. **[F4]** ボタンを押します。
2. **[-] [+]** ボタンで「鍵盤モード」を選び、**[F2]** ボタンを押します。
3. **[-] [+]** ボタンで「デュアル」を選び、**[F4]** ボタンを押します。

デュアル画面が表示されます。



電源投入時は、音色 1 は「コンサートピアノ」、音色 2 は「スロー Str1」が選ばれています。

4. デュアル演奏を終了するときは、手順 1～3 の操作をして「全鍵」を選びます。

デュアル演奏の設定を変更する

デュアル演奏時の音色の設定は、デュアル画面を表示した状態で操作します。

操作方法	
音色 2 を変える	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音色 2 にカーソルを合わせた状態で、音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 2. [-] [+] ボタンで音色を選ぶ。
音色 1 を変える	<ol style="list-style-type: none"> 1. [F2] ボタンを押して、音色 1 にカーソルを合わせる。 2. 音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 3. [-] [+] ボタンで音色を選ぶ。

メモ

その他の設定項目については、「鍵盤モード」(P.28) をご覧ください。

グランドピアノの音色を瞬時に呼び出す

[F4] ボタンを長押しすると、スプリット演奏やデュアル演奏を解除して、グランドピアノの音色 (コンサートピアノ) を呼び出すことができます。

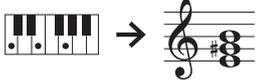
鍵盤の設定をする

移調して演奏する（鍵盤の移調）

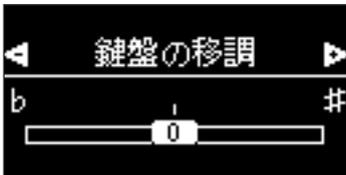
鍵盤を半音単位で移調することができます。

たとえば、ホ長調 (E) の曲をハ長調 (C) の鍵盤の位置で弾く場合は、鍵盤のトランスポーズを「+4」に設定します。

ドミソと弾くと→ミソ#シと鳴る



1. [F4] ボタンを押します。
2. [-] [+] ボタンで「鍵盤の移調」を選び、[↵] ボタンを押します。



3. [-] [+] ボタンで値を選びます。

設定値	-6 ~ 0 ~ +5 (初期値: 0)
-----	----------------------

4. [F4] ボタンを押して、鍵盤モードを終了します。

メモ

[F4] ボタンを押しながら、移調したい調の主音にあたる鍵盤を押す操作でも、鍵盤を移調することができます。

音名 (C4 など) の読みかた

「スプリット・ポイント」などの設定値のアルファベットは、音名を表しています。A = ラ、B = シ、C = ド、D = レ、E = ミ、F = ファ、G = ソになります。

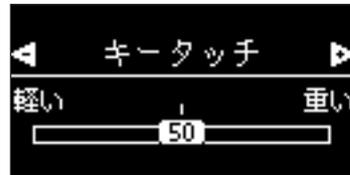
たとえば、「C4」の場合は、鍵盤の左端から「4番目のド」を表します。



鍵盤のタッチ感を変える（キータッチ）

鍵盤を弾いたときの手応え（タッチ感）を変えることができます。

1. [F4] ボタンを押します。
2. [-] [+] ボタンで「キータッチ」を選び、[↵] ボタンを押します。



3. [-] [+] ボタンで値を選びます。

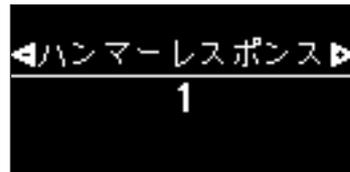
設定値	説明
Fix、1 ~ 100 (初期値: 50)	初期値 50 がアコースティック・ピアノに一番近いタッチです。値が大きくなるほど鍵盤が重く感じられます。「Fix」にすると、鍵盤を弾く強さに関係なく、一定の音量で音が鳴ります。

4. [F4] ボタンを押して、鍵盤モードを終了します。

鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節する（ハンマーレスポンス）

鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節することができます。

1. [F4] ボタンを押します。
2. [-] [+] ボタンで「ハンマーレスポンス」を選び、[↵] ボタンを押します。



3. [-] [+] ボタンで値を選びます。

設定値	説明
オフ、1 ~ 10 (初期値: 1)	値が大きくなるほど遅くなります。

4. [F4] ボタンを押して、鍵盤モードを終了します。

お気に入りの設定を登録する

このピアノでは、お好みの演奏設定を登録しておき、演奏する曲や演奏者ごとに設定を切り替えることができます。

音色だけでなく、鍵盤のスプリットや移調、ペダルへの機能アサインなどの設定もひとまとめにして、登録したり呼び出したりすることができます。お気に入りの設定は、[1] ~ [4] ボタンに各 9 個と「起動時設定」の合計 37 個登録することができます。お買い上げ時は、[1] ~ [3] ボタンにはおすすめの設定、[4] ボタンの 4-1 から 4-7 には LX-6GP のオリジナル設定、4-8 と 4-9 には空の設定が用意されています。お気に入りの設定は、すべて書き換え可能です。

メモ

- お気に入り設定で登録できる設定については、「お気に入り設定の登録」で保存される設定 (P.22) をご覧ください。
- お気に入り設定に登録した設定は、USB メモリーに保存することができます (P.23)。

現在の演奏設定を登録する

※ お気に入りの設定を登録すると、現在の設定が書き換わります。登録で書き換えられた設定は、「お気に入りの設定を初期化する」(P.11) の手順でお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1. [F6] ボタンを長押しします。

お気に入り設定の登録画面が表示されます。

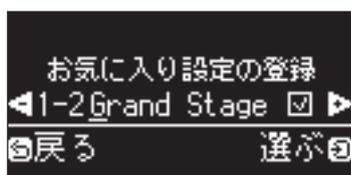


2. [1] ~ [4] ボタンと [-] [+] ボタンで現在の設定の登録先を選び、[F5] ボタンを押します。

メモ

「起動時設定」を選ぶと、現在の設定を電源投入時の設定として登録することができます。起動時設定は、お気に入り設定の登録 1-1 画面 → [-] ボタン → [F5] ボタンで登録します。

3. 名前を変更します。



3-1. [-] [+] ボタンで変更する文字を選び、[F5] ボタンを押します。

3-2. [-] [+] ボタンで文字を変更し、[F5] ボタンを押します。

- 文字を挿入するときは、[▶/■] ボタンを押します。
- 文字を削除するときは、[●] ボタンを押します。

4. 名前が決まったら [-] [+] ボタンで画面右端の ✓ を選び、[F5] ボタンを押します。



お気に入り設定画面に切り替わり、登録した設定が表示されます。



5. 設定を終了するときは、[F6] ボタンを押します。

[F6] ボタンが消灯します。

お気に入りの設定を呼び出す

1. [F6] ボタンを押します。

お気に入り設定画面が表示されます。



2. [1] ~ [4] ボタンを押してから、[-] [+] ボタンを押します。

お気に入り設定グループ内の各設定が選べます。

お気に入りの設定を初期化する

自分で登録したお気に入りの設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

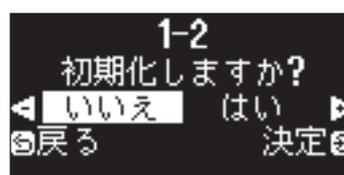
1. [F6] ボタンを押します。

お気に入り設定画面が表示されます。

2. [1] ~ [4] ボタンと [-] [+] ボタンで、初期化したいお気に入り設定を選びます。

3. [F5] ボタンを長押しします。

確認メッセージが表示されます。



4. [-] [+] ボタンで「はい」を選び、[F5] ボタンを押します。

選んだお気に入り設定が初期化されます。

5. 設定を終了するときは、[F6] ボタンを押します。

[F6] ボタンが消灯します。

メトロノームを使って練習する

メトロノームを鳴らして、リズム感覚を養いながら練習することができます。

このピアノでは、メトロノームだけでなく、さまざまな音楽ジャンルのリズム・パターンを鳴らして練習することもできます。

メトロノームを鳴らす

1. **[△] ボタンを押します。**
[△] ボタンが点滅し、メトロノームが鳴ります。
2. **テンポを変えるときは、[♪] ボタンを押してから [-] [+] ボタンでテンポを選びます。**

メモ

- [♪] ボタンを押してから [🔍] ボタンを押すと、[-] [+] ボタンで Allegro、Moderato など速度標語を選んでテンポを変えることができます。
 - 曲を再生しながらメトロノームを鳴らしているときは、テンポ設定画面で [-] [+] ボタンを同時に押すと、現在選んでいる曲のテンポに戻ります。
3. **拍子を変えるときは、[△] ボタンと [♪] ボタンを同時に押してから [-] [+] ボタンで [拍子] を選んで [🔍] ボタンを押し、[-] [+] ボタンで選びます。**

設定できる拍子	2/2、3/2、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8、8/8、9/8、12/8 (初期値：4/4)
---------	---

※ 6/8=2/2、9/8=3/4、12/8=4/4 でそれぞれ鳴ります。

4. **メトロノームを止めるときは、もう一度 [△] ボタンを押します。**
[△] ボタンが消灯します。

メトロノームの設定を変更する

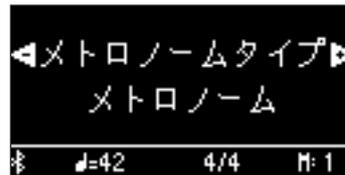
設定値	操作方法
1 拍目の強い音 (強拍) を鳴らさない (メトロノーム強拍)	オフ、オン (初期値：オン)
メトロノームのパターンを変える (メトロノームパターン)	オフ、8 分音符、3 連符、シャッフル、16 分音符、2 拍 3 連、4 分音符、付点 8 分音符 (初期値：オフ)
メトロノームの音量を変える (メトロノーム音量)	オフ、1 ~ 10 (初期値：5)
メトロノームの音色を変える (メトロノーム音色)	クリック、電子音、いちに、One Two (初期値：クリック)

1. **[△] ボタンと [♪] ボタンを同時に押してから [-] [+] ボタンで設定したい項目を選び、[🔍] ボタンを押す。**
2. **[-] [+] ボタンで設定値を選ぶ。**

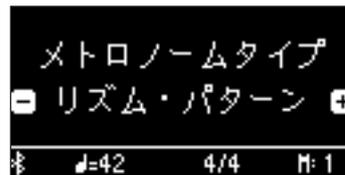
リズム・パターンを鳴らす

[メトロノームタイプ] をリズム・パターンに変更することで、さまざまな音楽ジャンルのリズム・パターンを選べます。

1. **[△] ボタンと [♪] ボタンを同時に押します。**
2. **[-] [+] ボタンで [メトロノームタイプ] を選び、[🔍] ボタンを押します**



3. **[-] [+] ボタンで [リズム・パターン] を選び、[🔍] ボタンを押します。**



4. **[-] [+] ボタンでリズム・パターンを選びます。**
→ [リズム・パターン一覧] (P.36) をご覧ください。

リズム・パターンの設定を変更する

操作方法	
リズムのパターンを変える (リズム・パターン)	1. [△] ボタンと [♪] ボタンを同時に押してから [-] [+] で設定したい項目を選び、[🔍] ボタンを押す。
リズムの音量を変える (メトロノーム音量)	2. [-] [+] ボタンを押して、設定値を選ぶ。

内蔵曲を再生する

内蔵曲を聴いてみましょう。お手本演奏として聴いたり、内蔵曲に合わせて片手ずつ練習したりすることができます。

→「内蔵曲一覧」(P.34)

内蔵曲のカテゴリー

カテゴリー	説明
リスニング	リスニングにおすすめのピアノ曲
GP コレクション (*1)	練習が楽しくなる人気曲を集めました。
アンサンブル (*2)	クラシックを中心とした名曲。ピアノ協奏曲、連弾、クラシックのジャズ・アレンジなども楽しめます。弾きごたえのある曲を集めましたので、初中級レベル以上のかたにおすすめです。
エンターテイメント (*2)	ポップス、ジャズ、童謡、世界の名曲など、初心者から上級者まで幅広いかたに楽しんでいただけるアレンジになっています。
ドレミでうたおう (*2)	曲に合わせてドレミで歌ったり、楽譜を読む練習をしたりして音楽の基礎を学びます。
スケール (*2)	スケール全調 (メジャー・スケール、マイナー・スケール)
ハノン	ハノン・ピアノ教本より第 1 ~ 20 番
バイエル	バイエル・ピアノ教則本第 1 ~ 106 番
ブルグミュラー	ブルグミュラー 25 の練習曲
ツェルニー 100 番	ツェルニー 100 番の練習曲
USB メモリー	USB メモリーに保存した曲
内部メモリー	内部メモリーに保存した曲

(*1) LX-6GP オリジナル・コンテンツ

(*2) 同梱の楽譜集「ローランド ピアノ名曲集」に対応しています。著作権の都合上、「エンターテイメント」カテゴリーの一部の曲は楽譜集に掲載されていません。

1. [🔊] ボタンを押します。

曲画面が表示されます。



2. [-] [+] ボタンで曲のカテゴリーを選び、[🔊] ボタンを押します。

3. [-] [+] ボタンでカテゴリー内の曲を選びます。

メモ

曲のカテゴリーを選び直す場合は、[🔊] ボタンを押します。

4. [▶/■] ボタンを押します。

[🔊] ボタンがテンポに合わせて点滅し、曲が再生されます。

5. 曲を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

[▶/■] ボタンが消灯します。

6. 曲の設定を終了するときには、[🔊] ボタンを押します。

[🔊] ボタンが消灯します。

内蔵曲の再生のしかたを変更する

操作方法	
演奏パートごとに再生する	<p>内蔵曲は 3 つのパート (右手、左手、伴奏) で構成され、聴きたいパートだけを再生することができます。</p> <p>※ 左手パートや伴奏パートがない曲もあります。その場合は該当パートを選ばません。</p> <ol style="list-style-type: none"> [🎹] ボタンを押す。 [-] [+] ボタンでパートを選び、[🔊] ボタンを押して鳴らす/鳴らさないを切り替える。 [▶/■] ボタンを押す。 聴きたいパートのみ再生されます。
曲のテンポを変える	<ol style="list-style-type: none"> [♩=] ボタンを押してから、[-] [+] ボタンを押す。 メモ [-] [+] ボタンを同時に押すと、テンポの初期値に戻ります。
曲のテンポを一定にして再生する (テンポミュート)	<p>曲の再生に合わせて練習するときに便利です。</p> <ol style="list-style-type: none"> [▶/■] ボタンを押しながら [♩=] ボタンを押す。 「テンポミュート オン」と表示され、一定のテンポで再生されます。 元のテンポに戻すときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押しながら [♩=] ボタンを押す。 「テンポミュート オフ」と表示され、オリジナルのテンポに戻ります。
再生する小節を選ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 曲を再生した状態で [◀/▶] ボタンを押す。 小節画面が表示されます。 [-] [+] ボタンで再生する小節数を選ぶ。 [▶/■] ボタンを押す。 指定した小節から曲を再生します。 <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> [◀] ボタンを押すと、曲の先頭が選ばれます。 [🔊] ボタンを押すと、曲を選ぶ画面に戻ります。 [🔊] ボタンを押して、再生を開始することもできます。
カウントを鳴らしてから曲を再生する	<ol style="list-style-type: none"> [🔊] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。 [🔊] ボタンがテンポに合わせて点滅します。
カテゴリー内の曲を全曲再生する	<ol style="list-style-type: none"> [🔊] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。 [▶/■] ボタンが点滅し、カテゴリー内の曲が順番に再生されます。
USB メモリーのフォルダー内にある曲を再生する	<ol style="list-style-type: none"> [🔊] ボタンを押す。 [-] [+] ボタンで「USB メモリー」を選び、[🔊] ボタンを押す。 フォルダーに入る [-] [+] ボタンで該当のフォルダーを選び、[🔊] ボタンを押す。 フォルダーから抜ける [-] [+] ボタンで「上る」を選び、[🔊] ボタンを押す。 [▶/■] ボタンを押す。 USB メモリー内の曲が再生されます。 <p>※ 再生可能なデータの拡張子は「.WAV」、「.MP3」または「.MID」です。</p>

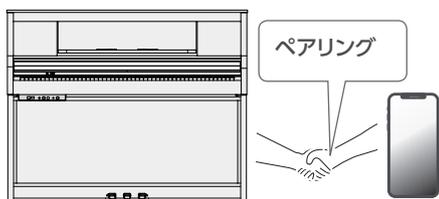
モバイル機器の曲を再生する (Bluetooth オーディオ)

スマートフォンやタブレットなどモバイル機器の曲を、Bluetooth 接続でピアノのスピーカーから再生することができます。再生した曲に合わせて練習することもできます。



初期設定をする (ペアリング)

モバイル機器とピアノを Bluetooth 接続するためには、モバイル機器にピアノを登録する (お互い認証する) ための「ペアリング」が必要です。



ここでは、例として iOS/iPad OS 機器を使った設定方法を紹介합니다。Android 機器をお使いの場合、設定方法についてはお使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

※ ピアノとのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。「初期設定済みのモバイル機器を接続する」(P.14) の手順をご覧ください。

1. 接続したいモバイル機器をピアノ周辺に置きます。

メモ

[設定] ボタンを長押しすると、すぐにペアリングを開始することができます。

2. ピアノの [設定] ボタンを押します。

[設定] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。

3. [-] [+] ボタンで「Bluetooth」を選び、[決定] ボタンを押します。

以下の画面が表示されます。



4. [決定] ボタンを押して、ペアリングを開始します。



ペアリングをやめる場合は、[キャンセル] ボタンを押します。

5. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



6. モバイル機器の Bluetooth 「デバイス」欄に表示される「LX-6GP Audio」をタップします。

ピアノとモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

モバイル機器	「自分のデバイス」欄に「LX-6GP Audio」が追加され、「接続済み」と表示される
ピアノ	画面に「接続完了」と表示され、Bluetooth マークの横に「AUDIO」と表示される

7. ピアノの [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

ペアリングは完了です。

初期設定済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

ピアノとモバイル機器が無線につながります。

※ 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の「デバイス」欄に表示されている「LX-6GP Audio」をタップしてください。

曲を再生する

1. モバイル機器で曲を再生します。

ピアノのスピーカーから音が鳴ります。

2. 曲の音量は、モバイル機器側で調節します。

メモ

モバイル機器の音量調節で思ったような音量にならないときは、ピアノ側の設定で調節します。

→「Bluetooth ボリューム」(P.24)

演奏を録音する

鍵盤で弾いた曲を録音する

自分で弾いた演奏を SMF 録音し、再生して確認することができます。

録音の準備

1. 演奏する音色を選びます。
2. 必要に応じてメトロノームを鳴らします。
メトロノームのテンポや拍子を設定します。メトロノームの設定は曲に記憶され、再生時も同じ設定で鳴らすことができます。
3. [●] ボタンを押します。
[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。
録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

録音を始める／止める

4. [▶/■] ボタンを押します。
1 小節のカウントが鳴ってから録音が始まり、[●] ボタンと [▶/■] ボタンの両方が点灯します。演奏は自動で保存されます。

メモ

[▶/■] ボタンを押す代わりに、鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。この場合カウントは鳴りません。

5. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。
録音が止まります。

録音した演奏を聴く

6. [▶/■] ボタンを押します。
演奏後は、録音した曲が選ばれています。
録音した曲の再生が始まります。

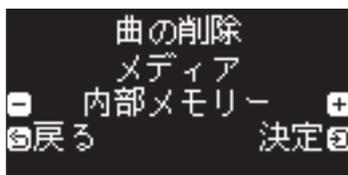
録音した曲を削除する

保存した曲を削除することができます。

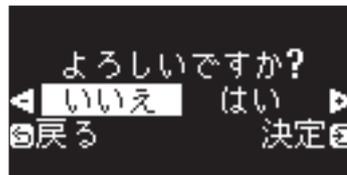
メモ

- 録音した曲は、[●] ボタンを押しながら [⏏] ボタンを押す操作でも削除できます。
- 内部メモリーに保存されている曲をすべて削除するときは、内部メモリーを初期化してください (P.21)。

1. [⚙] ボタンを押します。
[⚙] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
2. [-] [+] ボタンで「曲の削除」を選び、[⏏] ボタンを押します。
曲の削除画面が表示されます。



3. 曲が保存されているメディアを [-] [+] ボタンで選び、[⏏] ボタンを押します。
4. 削除する曲を [-] [+] ボタンで選び、[⏏] ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。



5. [-] [+] ボタンで「はい」を選び、[⏏] ボタンを押します。
削除が実行されます。
※ 画面に「実行中・・・」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。
※ USBメモリーのアクセス・ランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

録音した曲を管理する

操作方法

保存した曲の名前を変更することができます。

1. [⚙] ボタンを押す。
2. [-] [+] ボタンで「曲の名前変更」を選び、[⏏] ボタンを押す。
3. [-] [+] ボタンで変更する曲のメディアを選び、[⏏] ボタンを押す。
4. [-] [+] ボタンで名前を変更する曲を選び、[⏏] ボタンを押す。

録音した曲の名前を変更する
(曲の名前変更)

変更する文字を選ぶ	[-] [+] ボタンを押す
文字を変える	[⏏] ボタンを押す (決定) → [-] [+] ボタンを押す (文字変更) → [⏏] ボタンを押す (決定)
1文字挿入する	[▶/■] ボタンを押す
1文字削除する	[●] ボタンを押す

録音した曲をコピーする
(曲のコピー)

5. [-] [+] ボタンで画面右端の ✓ を選び、[⏏] ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
6. [-] [+] ボタンで「はい」を選び、[⏏] ボタンを押す。
名前の変更を実行します。
7. [⚙] ボタンを押す。

内部メモリーの曲を USBメモリーに、または USBメモリーの曲を内部メモリーにコピーします。

※ オーディオ・データはコピーすることができません。
※ 画面に「実行中・・・」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

1. [⚙] ボタンを押す。
2. [-] [+] ボタンで「曲のコピー」を選び、[⏏] ボタンを押す。
3. [-] [+] ボタンでコピー元とコピー先のメディアを選び、[⏏] ボタンを押す。
4. [-] [+] ボタンでコピーする曲を選び、[⏏] ボタンを押す。
コピーが実行されます。
5. [⚙] ボタンを押す。

さらに進んだ録音方法

片手ずつ演奏を録音する

左手の演奏を左手パート、右手の演奏を右手パートに録音することで、演奏を片手ずつ別々に録音することができます。



左手 (または右手) パート

録音の準備

1. 演奏する音色を選びます。

2. 必要に応じてメトロノームを鳴らします。

メトロノームのテンポや拍子を設定します。メトロノームの設定は曲に記憶され、再生時も同じ設定で鳴らすことができます。

3. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

メモ

録音時の鍵盤モードによって、以下のパートに録音されます。

1 音色での演奏	「右手」パート
左手、右手を違う音色で演奏 (スプリット演奏)	左手音色は「左手」パート、右手音色は「右手」パート
2つの音色を重ねて演奏 (デュアル演奏)	音色1は「右手」パート、音色2は「伴奏」パート

4. [🎹] ボタンを押してから [-] [+] ボタンでパートを選び、[🎵] ボタンで録音する/しないを切り替えます。

録音するパートのみ点滅した状態になります (右手パートが点滅)。



録音を始める/止める

5. [▶/■] ボタンを押します。

1小節のカウントが鳴ってから録音が始まり、[●] ボタンと [▶/■] ボタンの両方が点灯します。演奏は自動で保存されます。

メモ

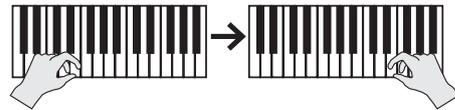
[▶/■] ボタンを押す代わりに、鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。この場合カウントは鳴りません。

6. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

録音が止まります。

録音した演奏を重ねて録音する

片手で演奏した録音を重ねて、もう片方の手の演奏を録音することができます。また、内蔵曲を重ねて録音することもできます。



左手 (右手) パート 右手 (左手) パート

録音の準備

1. [🎵] ボタンを押します。

メモ

小節画面が表示された場合は、[🔍] ボタンを押すと曲を選ぶ画面に戻ります。

2. [-] [+] ボタンで重ね録音する曲のカテゴリーを選び、[🎵] ボタンを押します。

3. [-] [+] ボタンで重ね録音する曲を選びます。

カテゴリー内の曲が選べます。

メモ

内蔵曲に合わせて演奏して録音する場合は、内蔵曲のテンポを一定にして録音することができます (P.13)。

4. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

5. [-] [+] ボタンで「重ね録音」を選びます。

手順3の曲が選ばれます。



6. [🎹] ボタンを押してから [-] [+] ボタンでパートを選び、[🎵] ボタンで録音する/しないを切り替えます。

録音するパートのみ点滅した状態になります。

※すでに録音されているパート (点灯) を選んで [🎵] ボタンを押して点滅状態にすると、そのパートは上書きで録音されます。

録音を始める/止める

7. [▶/■] ボタンを押します。

1小節のカウントが鳴ってから録音が始まり、[●] ボタンと [▶/■] ボタンの両方が点灯します。演奏は自動で保存されます。

メモ

[▶/■] ボタンを押す代わりに、鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。この場合カウントは鳴りません。

8. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

録音が止まります。

お好みのピアノの音を作る (ピアノデザイナー)

このピアノでは、さまざまな音の要素を調節してお好みのピアノ音を作ることができます。
この機能を「ピアノデザイナー」といいます。

メモ

ピアノデザイナーでは、さまざまな音の要素をアプリ「Roland Piano App」からのタッチ操作でも調節することができます。

→「アプリと接続してさまざまな付加機能を楽しむ (Bluetooth MIDI)」(P.19)



アプリ「Roland Piano App」

ピアノ全体の音の調節をする

1. [✕] ボタンを押します。
[✕] ボタンが点灯します。
2. [-] [+] ボタンで調節したい項目を選び、[☑] ボタンを押します。
3. [-] [+] ボタンで設定値を選びます。
4. 設定を終了するときは、[✕] ボタンを押します。
[✕] ボタンが消灯します。

項目	設定値	説明
マスターチューニング	415.3Hz ~ 466.2Hz (初期値: 442.0Hz)	基準ピッチを設定します。 基準ピッチとは、一般的に中央 A (A4) の音の高さのことをいいます。他の楽器と基準ピッチを合わせることを「チューニング」といいます。他の楽器とアンサンブルするときは、きれいなハーモニーにするためピアノの基準ピッチを他の楽器に合わせるすることができます。
調律法		バロックなどの古典音楽を当時の調律法で演奏することができます。 現在では、平均律 (現在最も一般的な調律法) を前提に作曲され、演奏されるのが基本となっていますが、古典音楽の時代にはいろいろな調律法が存在していました。当時の調律法で演奏すると、その曲が本来もっている和音の響きを味わうことができます。
	平均律 (初期値)	オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。現在のピアノで最も一般的な調律法です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	純正調 (長) 純正調 (短)	主要 3 和音が濁りのない調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きをもちます。純正調は長調と短調で調律が異なります。
	ピタゴラス音律	哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、シンプルな旋律の曲に向きます。
	キルンベルガー I	キルンベルガー第一法。純正調と同様に主要 3 和音が純正な調律です。この調律法に適した調で書かれた曲を演奏すると美しい響きとなります。
	キルンベルガー II	キルンベルガー第二法。キルンベルガー第一法を修正して、使用できる調の制限を少なくした調律法です。
	キルンベルガー III	キルンベルガー第三法。中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります。
	中全音律	長 3 度を純正に取り、5 度を純正よりわずかに狭めた調律法です。純正調では大全音と小全音の 2 種類の全音があるのに対し、この調律では一種類の全音 (中全音) のみになります。限定された調の中で転調できます。
	ベルクマイスター	ベルクマイスター第一技法第三番。8 つの純正 5 度と 4 つの狭い 5 度からなる調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります。
	アラビア音階	アラビア音楽に適した調律です。
主音	C ~ B (初期値: C)	調律の主音を設定します (調律法主音)。平均律以外の調律法で演奏するときに、演奏する曲の調に合わせて主音 (長調なら C、短調なら A にあたる音) を選びます。平均律を選んでいる場合は、主音を選ぶ必要はありません。
ピアノ音色の設定		→「グランドピアノ音色を調節する」(P.18)

お好みのピアノの音を作る (ピアノデザイナー)

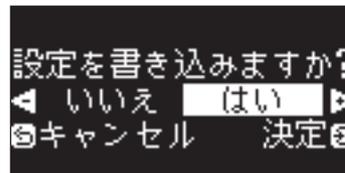
グランドピアノ音色を調節する

弦やペダルの共鳴音、ハンマーが弦を叩く音など、グランドピアノのさまざまな音の要素を調節することができます。

※「グランド」グループの音色のみ調節できます。

1. [※] ボタンを押します。
2. [-] [+] ボタンで「ピアノ音色の設定」を選び、[↵] ボタンを押します。
3. [-] [+] ボタンで調節したい項目を選び、[↵] ボタンを押します。
4. [-] [+] ボタンで設定値を選びます。
5. ピアノ音色の設定を終了するとき、[↵] ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [↵] ボタンを押します。

6. [-] [+] ボタンで「はい」を選び、[↵] ボタンを押します。

グランドピアノ音色の設定が保存されます。

項目	設定値	説明
大屋根	0～6 (初期値:4)	グランドピアノの大屋根の開き具合を調節します。画面上のピアノの大屋根が閉じていくほど、柔らかい音になります。また、画面上のピアノの大屋根が開いていくほど明るい音になります。
キーオフノイズ	オフ、1～10 (初期値:3)	鍵盤を離れたときに鳴る、アクション・ノイズを調節します。値が大きいほどアクション・ノイズが大きくなります。
ハンマーノイズ	-2～0～+2 (初期値:0)	アコースティック・ピアノを弾いたときの、ハンマーが弦を叩く音を調節します。値が大きいほどハンマーが弦を叩く音が大きくなります。
アリコート	オフ、1～10 (初期値:2)	アコースティック・ピアノのアリコートが共鳴した音を調節します。値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。アリコートとは、グランドピアノにつけられることがある共鳴弦です。共鳴弦は直接ハンマーで叩かれるのではなく、他の弦の振動に共鳴して鳴ります。弦の倍音を響かせることで、豊かで輝かしい音を得ることができます。このような共鳴弦はおおよそ C4 より上の音域の弦にだけついています。この共鳴弦には音を止める機構がないので、鍵盤を弾いたあと指を上げて弦の音を止めても、共鳴弦の音だけ残ることになります。
全鍵ストリングレゾナンス	オフ、1～10 (初期値:4)	アコースティック・ピアノの弦共鳴（鍵盤を弾いたときに、すでに押さえている鍵の弦が共鳴する音や、ダンパー・ペダルを踏んだときに弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音）を調節します。値が大きくなるほど、共鳴音が大きくなります。
ダンパーレゾナンス	オフ、1～10 (初期値:4)	アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んだときの、ピアノ全体のレゾナンス（弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音や、本体全体に共鳴する音）を調節します。値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
キーオフレゾナンス	オフ、1～10 (初期値:3)	アコースティック・ピアノの鍵盤を離れたときの微妙な音などの共鳴音を調節します。値が大きくなるほど、減衰時の音質変化が大きくなります。
キャビネットレゾナンス	オフ、1～10 (初期値:4)	グランドピアノ本体の箱鳴り感を調節します。値が大きくなるほど、箱鳴りが大きくなります。
サウンドボードタイプ	1～5 (初期値:1)	アコースティック・ピアノの響板の響きかたを選びます。響きかたの異なる、5つのタイプから選ぶことができます。
ダンパーモデリング	オフ、1～10 (初期値:5)	アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んで、弦が解放されたときに鳴る音を調節します。
88鍵チューニング(*)	-50.0～0～+50.0 (1鍵ごと)	1鍵ごとの調律を調節できます。高音域はより高く、低音域はより低く調律するストレッチ・チューニングの幅を調節することもできます。
88鍵ボリューム(*)	-50～0 (1鍵ごと)	1鍵ごとの音量を調節できます。値が小さくなるほど、音量が小さくなります。
88鍵キャラクター(*)	-5～0～+5 (1鍵ごと)	1鍵ごとの音質を調節できます。値が大きいほど硬い音になり、小さくすると柔らかい音になります。音域によって効果のかけかたが異なります。
設定のリセット	選んでいる音色の「ピアノ音色の設定」を、工場出荷時の設定に戻すことができます。	

(*) 88鍵設定のしかた

1. 88鍵設定の項目の画面を選び、[↵] ボタンを押します。
2. 変更したい鍵を弾いて選び、[-] [+] ボタンで設定値を変更します。
3. [↵] ボタンを押して、項目の画面から抜けます。

アプリと接続してさまざまな付加機能を楽しむ (Bluetooth MIDI)

このピアノと一緒に使えるアプリ

アプリ名	対応 OS	説明
 Roland Piano App	iOS iPadOS Android	電子楽譜を表示したり、ゲーム感覚で曲の練習をしたり、練習の記録をつけたりすることができます。

- アプリは、App Store (iOS/iPadOS 製品)、Google Play (Android 製品) からダウンロードできます。
- 上記以外にも、Bluetooth MIDI 対応の音楽アプリ (Garage Band など) を使うことができます。
- 上記は、本書発行時点での当社製アプリの情報を掲載しています。最新情報については、ローランド・ホームページをご覧ください。

初期設定をする (ペアリング)

モバイル機器にインストールしたアプリとピアノと一緒に使う設定をします。ここでは、例として iPad を使ってアプリ [Roland Piano App] を使うときの手順を紹介します。

※ ピアノをアプリと一緒に使う場合は、ピアノ側の設定は不要です。アプリからの操作でピアノとペアリングをします。

1. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



注意

「デバイス」欄に、お使いの製品名 (LX-6GP MIDI など) が表示されてもタップしないでください。

2. モバイル機器にインストールしたアプリを起動します。

3. 「ピアノと接続する」をタップします。

4. お使いの製品名 [LX-6GP MIDI] をタップします。



「Bluetooth ペアリングの要求」が表示された場合は、「ペアリング」をタップします。



ピアノとモバイル機器のアプリがペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

モバイル機器	アプリ画面上部の「接続状態」欄に「LX-6GP MIDI と接続しています」と表示される
ピアノ	画面の Bluetooth マークの横に「MIDI」と表示される 

以上で設定は完了です。

メモ

初期設定済みのモバイル機器と接続する場合は、アプリを起動すると自動的に接続されます。接続には数秒かかります。

※ 接続されない場合は、アプリ画面上部の「接続状態」をタップし、「ピアノと接続する」をタップします。



ピアノを複数台お持ちの場合は

ピアノが複数台ある場所でモバイル機器とペアリングする場合は、各ピアノに ID を設定して接続先を識別することができます。

ID (識別番号) の設定方法

この設定をすると、モバイル機器に製品名が表示される際、末尾に識別番号が付きます。
(LX-6GP Audio 1] [LX-6GP MIDI 1] など)

1. [設定] ボタンを押します。
2. [-] [+] ボタンで「Bluetooth」を選び、[設定] ボタンを押します。
3. [-] [+] ボタンで「Bluetooth ID」を選び、[設定] ボタンを押します。
4. [-] [+] ボタンで番号を変えます。

識別番号	説明
0 ~ 99	[0] に設定: 「LX-6GP Audio」[LX-6GP MIDI] (初期値) [1] に設定: 「LX-6GP Audio 1」[LX-6GP MIDI 1]

※ ピアノが複数台ある場所でペアリングするときは、ペアリングするピアノとモバイル機器のみ電源を入れることをおすすめします (他の機器の電源は切ってください)。

アプリとの接続がうまくいかないときは？

アプリとのペアリングがうまくいかないときは、以下の手順をお試しください。

1. ピアノの Bluetooth 機能が「オン」になっているか確認します。

- 1-1. ピアノの [設定] ボタンを押します。
- 1-2. [-] [+] ボタンで「Bluetooth」を選び、[設定] ボタンを押します。
- 1-3. [-] [+] ボタンで「Bluetooth オン/オフ」を選び、[設定] ボタンを押します。
- 1-4. [-] [+] ボタンで「オン」を選びます。
- 1-5. [設定] ボタンを押します。

メモ

内容を確認しても解決しないときは、ローランドのサポート・ページをご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

2. モバイル機器のすべてのアプリを終了します。

アプリ終了方法

ホーム画面の下部から上にスワイプし、画面の中ほどでそのまま指を止めます。その後、アプリ画面を上から下にスワイプします。



※ モバイル機器によっては、アプリの終了方法が異なる場合があります。お使いのモバイル機器の操作方法に従って終了させてください。

3. ペアリングされている場合は一度解除し、Bluetooth 機能をオフにします。

ペアリングの解除方法

モバイル機器画面の「接続済み」横にある「i」をタップして、「このデバイスの登録を解除」をタップします。



4. Bluetooth スイッチをオフにします。



5. モバイル機器を再起動します。

6. 「初期設定をする (ペアリング)」 (P.19) の手順 1 からやり直します。

便利な機能

メモリーを初期化する(メディアのフォーマット)

内部メモリーまたは USB メモリーに保存されているすべてのファイルを消去することができます。

注意

- 初期化すると、内部メモリーまたは USB メモリーに保存されているファイルはすべて消えてしまいます。
- USB メモリーを初期化する場合は、USB メモリーを USB Memory 端子に接続しておきます。

メモ

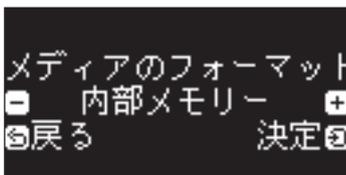
メモリーの内容以外の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、ファクトリーリセット (P.21) をしてください。

1. [⚙️] ボタンを押します。

[⚙️] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。

2. [-] [+] ボタンで「メディアのフォーマット」画面を選び、[↩️] ボタンを押します。

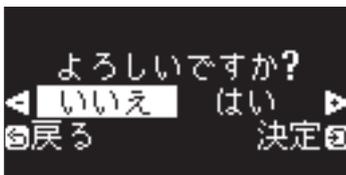
メディアのフォーマット画面が表示されます。



中止するときは [↩️] ボタンを押します。

3. [-] [+] ボタンで初期化するメディア (内部メモリーまたは USB メモリー) を選び、[↩️] ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [↩️] ボタンを押します。

4. [-] [+] ボタンで「はい」を選び、[↩️] ボタンを押します。

初期化が実行されます。

注意

- 画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。
- USB メモリーのアクセス・ランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

5. [⚙️] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

[⚙️] ボタンが消灯します。

お買い上げ時の設定に戻す (ファクトリーリセット)

ピアノに保存されている設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。この機能を「ファクトリーリセット」といいます。

注意

「ファクトリーリセット」を実行すると、それまで記憶していた設定はすべて消え、お買い上げ時の設定になります。リセットされる設定項目については、「電源を入れ直しても記憶している設定 (P.22) をご覧ください。

メモ

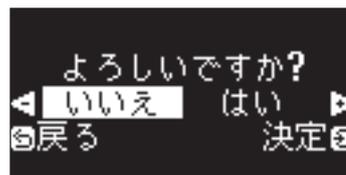
この操作をしても、内部メモリーまたは USB メモリーのファイルは消えません。内部メモリーや USB メモリーのファイルをすべて消すときは、メディアのフォーマット (P.21) をしてください。

1. [⚙️] ボタンを押します。

[⚙️] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。

2. [-] [+] ボタンで「ファクトリーリセット」を選び、[↩️] ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [↩️] ボタンを押します。

3. [-] [+] ボタンで「はい」を選び、[↩️] ボタンを押します。

ファクトリーリセットが実行されます。

注意

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

4. 「電源を入れなおしてください」と表示されたら、電源を入れ直します。

電源を入れ直しても記憶している設定

このピアノは、電源を入れ直しても「自動で保存される設定」は記憶しています。また、「お気に入り設定の登録」の操作をすると、「お気に入り設定の登録」で保存される設定も記憶しておくことができます。

これら以外の設定は、電源を入れ直すと初期値に戻ります。

自動で保存される設定

このピアノは、以下の設定が自動で保存されます。電源を入れ直しても設定を記憶しています。

設定	ページ
スピーカー音量	P.6
ヘッドホン音量	
テンポ	P.12
メトロノームタイプ	
拍子	
メトロノーム強拍	
メトロノームパターン	
メトロノーム音量	
メトロノーム音色	
リズム・パターン	
マスターチューニング	
調律法	P.17
主音	
Bluetooth オン/オフ	P.24
Bluetooth ボリューム	
Bluetooth ID	
曲ボリューム SMF	
曲ボリューム AUDIO	
インプットボリューム	
USB Audio インプットボリューム	
SMF 再生モード	
カウントイン小節	
お気に入り設定ペダル切替	P.25
ディスプレイコントラスト	
スクリーンセーバー	P.26
タッチクリック音量	
ボリュームリミット	
鍵盤蓋による電源オフ	
スピーカーオートミュート	P.27
オートオフ	

「お気に入り設定の登録」で保存される設定

お気に入り設定を登録 (P.11) すると、以下の設定が保存されます。

設定	ページ
マフラー・ペダル オン/オフ * アップライト音色選択時	P.8
アンビエンスの種類	
ピアノ・リアリティ・ヘッドホン ・アンビエンス	
キーボードアンビエンス	
音の明るさ	
ロータリースピード	P.10
鍵盤の移調	
キータッチ	
ハンマーレスポンス	P.9
全鍵 - 音色	
スプリット - 右手音色	
スプリット - 左手音色	
デュアル - 音色 1	P.24
デュアル - 音色 2	
曲の移調	P.25
右ペダルパート	P.26
中央ペダル機能	
中央ペダルパート	P.28
左ペダル機能	
MIDI 送信チャンネル	P.28
鍵盤モード	
スプリット - ポイント	
スプリット - バランス	
スプリット - 左手シフト	
スプリット - 右手シフト	
デュアル - バランス	
デュアル - 音色 1 シフト	
デュアル - 音色 2 シフト	
ツインピアノモード	

ボタンが効かないようにする (パネル・ロック)

演奏中に意図せず設定が変わってしまうことを防ぐため、[🔒] ボタンと [🔊] つまみ以外を効かなくすることができます。

パネルをロックする	画面に「🔒」マークが表示されるまで、 [🔊] ボタンを長押しする
ロックを解除する	画面の「🔒」が消えるまで、[🔊] ボタンを長押しする

ピアノの設定を読み込む／保存する

ピアノの設定や「お気に入りの設定」登録した設定を USB メモリーに保存して、同じ型番のピアノで読み込むことができます。

音楽教室と自宅のピアノを同じ設定にして演奏したいときなどに便利です。

※ 同じ型番のピアノのみ、設定を読み込むことができます。

保存／読み込みできるピアノ設定

設定	ページ
スピーカーの音量	P.6
ヘッドホンの音量	
アンビエンスの種類	P.8
キーボードアンビエンス	
音の明るさ	P.10
キータッチ	
ハンマーレスポンス	P.17
マスターチューニング	
調律法	P.18
主音	
ピアノ音色の設定	P.27
ボリュームリミット	

※ 保存／読み込みできるお気に入り設定は、「お気に入り設定の登録」で保存される設定 (P.22) をご覧ください。

お気に入りの設定またはピアノの設定を保存する (お気に入り設定の保存／ピアノ設定の保存)

1. USB メモリーを USB Memory 端子に接続します。
2. [⚙️] ボタンを押します。
[⚙️] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
3. [-] [+] ボタンで「お気に入り設定の保存」または「ピアノ設定の保存」を選び、[↵] ボタンを押します。
お気に入り設定、またはピアノ設定の保存画面が表示されます。



4. お気に入り設定、またはピアノ設定の名前を変更します。

変更する文字を選ぶ	[-] [+] ボタンを押す
文字を変える	[↵] ボタンを押す (決定) → [-] [+] ボタンを押す (文字変更) → [↵] ボタンを押す (決定)
1 文字挿入する	[▶/■] ボタンを押す
1 文字削除する	[●] ボタンを押す

5. [-] [+] ボタンで画面右端の ✓ を選び、[↵] ボタンを押します。

保存が実行されます。

- ※ 画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。
- ※ USB メモリーのアクセス・ランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

6. [⚙️] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

[⚙️] ボタンが消灯します。

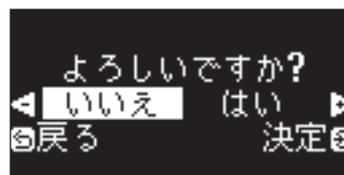
お気に入りの設定またはピアノの設定を読み込む (お気に入り設定の読込／ピアノ設定の読込)

1. USB メモリーを USB Memory 端子に接続します。
2. [⚙️] ボタンを押します。
[⚙️] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
3. [-] [+] ボタンで「お気に入り設定の読込」または「ピアノ設定の読込」を選び、[↵] ボタンを押します。
お気に入り設定、またはピアノ設定の読込画面が表示されます。



4. [-] [+] ボタンでお気に入り設定、または読み込むピアノ設定を選び、[↵] ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [↵] ボタンを押します。

5. [-] [+] ボタンで「はい」を選び、[↵] ボタンを押します。

読み込みが実行されます。

- ※ 画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。
- ※ USB メモリーのアクセス・ランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

6. [⚙️] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

[⚙️] ボタンが消灯します。

いろいろな設定をする

ファンクション・モード

ファンクション・モードの基本設定

1. **[]** ボタンを押します。
 [] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
2. **[] []** ボタンで設定する項目を選び、**[]** ボタンを押します。
 ※ 選んだ項目によっては、さらに項目を選ぶ画面が表示される場合があります。
3. **[] []** ボタンで設定値を選びます。
4. **[]** ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。
 [] ボタンが消灯します。

表示	設定値／説明
Bluetooth に関する設定	
Bluetooth	Bluetooth 機能をオン／オフする (Bluetooth オン／オフ) Bluetooth 機能をオンにすると、ピアノとモバイル機器を無線接続して、モバイル機器で再生した曲をピアノのスピーカーから鳴らしたり、アプリと一緒に使ったりすることができます (P.14、P.19)。 オン、オフ (初期値: オン)
	Bluetooth ペアリング モバイル機器の曲をピアノのスピーカーから鳴らすときに、ピアノとモバイル機器を無線接続する設定をします (P.14)。
	Bluetooth ボリューム Bluetooth オーディオの音量を調節する (Bluetooth ボリューム) モバイル機器の曲をピアノのスピーカーから鳴らすときの音量の設定です (P.14)。 0 ~ 10 (初期値: 4)
	Bluetooth ID ピアノが複数台ある場所で Bluetooth 機能を使う場合は、各ピアノに ID を設定して接続先を識別することができます (P.19)。 0 ~ 99 (初期値: 0)
曲の再生に関する設定	
曲の移調	再生する曲を移調する (曲の移調) 再生する曲を半音単位で移調します。 -12 ~ 0 ~ +12 (初期値: 0)
曲ボリューム SMF	曲 (SMF) の音量を調節する (曲ボリューム SMF) 曲を再生しながら鍵盤演奏するときの音量設定です。再生する曲 (SMF データ) の音量を調節します。 ※ SMF 再生モード (P.25) を「内蔵曲」に設定しているときは、曲ボリューム SMF の値を変えても音量が変わらないパートがあります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。 0 ~ 10 (初期値: 10)
曲ボリューム AUDIO	曲 (オーディオ) の音量を調節する (曲ボリューム AUDIO) 曲を再生しながら鍵盤演奏するときの音量設定です。再生する曲 (オーディオ・データ) の音量を調節します。 0 ~ 10 (初期値: 7)
インプットボリューム	オーディオ再生機器の音量を調節する (インプットボリューム) 曲を再生しながら鍵盤演奏するときの音量設定です。Input 端子にオーディオ再生機器をつないだときの、オーディオ再生機器からの音量を調節します。 0 ~ 10 (初期値: 7)
USB Audio インプットボリューム	パソコンからの音量を調節する (USB Audio インプットボリューム) USB Computer 端子に接続したパソコンでオーディオを再生するとき、パソコンからの音量を調節します。 0 ~ 10 (初期値: 7)

表示	設定値／説明
	<h3>曲 (SMF) 再生時の鍵盤の音色を設定する (SMF 再生モード)</h3> <p>曲を再生しながら鍵盤演奏をするときの音色設定です。通常は「自動選択」でお使いください。 ファイル形式が SMF の曲を再生するときに、内蔵曲と外部データのどちらに最適な設定にするかを選びます。</p> <p>メモ ▶/■ ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押して、SMF 再生モードを切り替えることもできます。</p> <p>※ SMF 再生モードを「外部データ」に設定しているときは、一部の音の効果がかからないため、通常の鍵盤演奏時と音質が異なって聞こえることがあります。</p>
SMF 再生モード	<p>自動選択 (初期値) 再生する曲に合わせて、「内蔵曲」か「外部データ」に自動で切り替わります。</p> <p>内蔵曲 曲を再生すると、鍵盤演奏する音色は曲に記録されている音色に変わります。 内蔵曲やこのピアノで録音した曲を再生するときにおすすめです。</p> <p>外部データ 曲を再生しても、鍵盤演奏する音色は変わりません。 市販のミュージックデータなどの外部データを再生するときにおすすめです。</p>
録音に関する設定	
	<p>このピアノは、2通りのモードで録音することができます。SMF で録音するか、オーディオで録音するかを選びます。</p> <p>メモ ● ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押して、録音モードを切り替えることもできます。</p>
録音モード	<p>SMF (初期値) 演奏を内部メモリーに録音し、ピアノで再生します。右手の演奏に重ねて左手の演奏を録音したり、あとで両手合わせた演奏を聞いたりできます (P.15)。</p> <p>オーディオ USBメモリーに音声データとして演奏を録音して (WAV形式: 44.1kHz、16ビット・リニア)、パソコンなどで利用できます。 ※ オーディオ・データは、ピアノの内部メモリーに保存できません。 ※ 画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーや電源コードを抜いたりしないでください。また、USBメモリーのアクセスランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーや電源コードを抜いたりしないでください。</p>
曲の削除	ピアノの内部メモリーや USBメモリーに保存された曲を削除します (P.15)。
曲の名前変更	保存した曲の名前を変更できます (P.15)。
曲のコピー	ピアノの内部メモリーに保存されている曲を USBメモリーに、または USBメモリーに保存されている曲を内部メモリーにコピーします (P.15)。
	<h3>曲再生や録音開始前のカウント小節数を変える (カウントイン小節)</h3> <p>曲再生と録音開始前に鳴らす、カウントの小節数を変更することができます。</p> <p>1小節、2小節 (初期値: 1小節)</p>
ペダルに関する設定	
	<h3>ペダルの効果のかけかたを変える (右ペダルパート)</h3> <p>デュアル演奏やスプリット演奏のときに右ペダルを踏むと、2つの音色の両方にペダルの効果がかかります (P.9)。この設定をすると、効果かける音色を選ぶことができます。</p>
右ペダルパート	<p>右手 & 左手 (初期値) 両方の音色に有効</p> <p>右手 音色 1 (デュアル演奏時) / 右手音色 (スプリット演奏時) にのみ有効</p> <p>左手 音色 2 (デュアル演奏時) / 左手音色 (スプリット演奏時) にのみ有効</p>
	<h3>ペダルのはたらきを変える (中央ペダル機能)</h3> <p>電源を入れた状態では、中央のペダルはソステヌート・ペダルとしてはたらきます (P.7)。これをさまざまなのはたらきに変えることができます。ペダルに機能を割り当てると、演奏中にペダルを踏んで瞬時に設定を変えることができます。</p>
中央ペダル機能	<p>マフラー/ソステヌート (初期値) アップライトピアノ音色選択時にはマフラー・ペダル、それ以外ではソステヌート・ペダルのはたらきをします。</p> <p>ソステヌート 常にソステヌート・ペダルのはたらきをします。</p> <p>再生/停止 ▶/■ ボタンと同じはたらきをします。パネル・ロック中は再生できません。</p> <p>レイヤー ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色 2 が重なって鳴ります。 ※ デュアル演奏時のみ効果がかけられます。</p>

いろいろな設定をする

表示	設定値／説明
	<h3>ペダルの効果のかけかたを変える (中央ペダルパート)</h3> <p>デュアル演奏やスプリット演奏のときに中央ペダルを踏むと、2つの音色の両方にペダルの効果がかかります (P.9)。この設定をすると、効果かける音色を選ぶことができます。</p>
中央ペダルパート	<p>右手&左手 (初期値) 両方の音色に有効</p> <p>右手 音色1 (デュアル演奏時)、右手音色 (スプリット演奏時)、右側音色 (ツインピアノ演奏時) にのみ有効 ※ 2つの音色の組み合わせによっては、それぞれ1つの音色のみで演奏するときと音質が異なって聞こえることがあります。</p> <p>左手 音色2 (デュアル演奏時)、左手音色 (スプリット演奏時)、左側音色 (ツインピアノ演奏時) にのみ有効 ※ 2つの音色の組み合わせによっては、それぞれ1つの音色のみで演奏するときと音質が異なって聞こえることがあります。</p>
	<h3>ペダルの効果のかけかたを変える (左ペダル機能)</h3> <p>電源を入れた状態では、左側のペダルはソフト・ペダルとしてはたらかまず (P.7)。これをさまざまなたらきに変えることができます。ペダルに機能を割り当てると、演奏中にペダルを踏んで瞬時に設定を変えることができます。</p>
左ペダル機能	<p>ソフト (初期値) ソフト・ペダルのはたらかしをします。</p> <p>再生/停止 [▶/■] ボタンと同じはたらかしをします。パネル・ロック中は再生できません。</p> <p>レイヤー ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色2が重なって鳴ります。 ※ デュアル演奏時のみ効果がかけられます。</p>
	<h3>ペダルで「お気に入りの設定」を切り替える (お気に入り設定ペダル切替)</h3> <p>「お気に入りの設定」の切り替え操作をペダルに設定することができます (P.11)。ペダルを踏むごとに、次の「お気に入りの設定」に切り替えることができます。</p> <p>※ ペダル機能の設定は、次のように優先されます：「お気に入り設定ペダル切替」→「中央ペダル機能/左ペダル機能」</p>
お気に入り設定ペダル切替	<p>オフ (初期値) ペダルを踏んでも「お気に入りの設定」は切り替わりません。</p> <p>左ペダル 左ペダル (ソフト・ペダル) はお気に入り設定の切り替え操作になります。このとき左ペダル機能を設定していても利用できません。</p> <p>中央ペダル 中央ペダル (マフラー/ソステナート・ペダル) はお気に入り設定の切り替え操作になります。このとき中央ペダル機能を設定していても利用できません。</p>
MIDIに関する設定	
	<h3>シーケンサーと接続したときの2度鳴りを防ぐ (ローカルコントロール)</h3> <p>USBでMIDIシーケンサーに接続したときには、ローカル・オフを設定します。</p> <p>通常のシーケンサーはスルー機能がオンに設定されているため、鍵盤を弾いた音が2重に聴こえたり途切れたりします。これを防ぐために鍵盤と内部の音源を切り離すことを、「ローカル・オフ」といいます。</p>
ローカルコントロール	<p>オン (初期値) ローカルコントロールがオンになります。鍵盤が内部の音源とつながっている状態です。</p> <p>オフ ローカルコントロールがオフになります。 鍵盤が内部の音源と切り離された状態です。鍵盤を弾いても音は鳴りません。</p>
	<h3>MIDI送信チャンネルを変える (MIDI送信チャンネル)</h3> <p>このピアノが送信するMIDIチャンネルを設定します。なお、このピアノは1～16のすべてのチャンネルを受信します。</p> <p>オフ、1～16 (初期値:1)</p>
MIDI送信チャンネル	
使用環境に関する設定	
	<h3>ディスプレイの明るさを調節する (ディスプレイコントラスト)</h3> <p>ディスプレイの明るさを調節することができます。</p> <p>1～10 (初期値:5)</p>
ディスプレイコントラスト	
	<h3>操作パネルが暗くなるまでの時間を設定する (スクリーンセーバー)</h3> <p>一定時間操作しないと、操作パネルのディスプレイが暗くなります。暗くなるまでの時間を設定することができます。</p> <p>オフ、30秒、1分、5分、10分 (初期値:オフ)</p>
スクリーンセーバー	

表示	設定値／説明
タッチクリック音量	<p>操作パネルのクリック音を設定する（タッチクリック音量）</p> <p>操作パネルのボタンをタッチしたときのクリック音量を調節することができます。</p> <p>オフ、1～10（初期値：5）</p>
ボリュームリミット	<p>音量の最大値を設定する（ボリュームリミット）</p> <p>音量の最大値を設定します。意図せず大きな音が鳴ってしまうことを防ぐことができます。</p> <p>20、40、60、80、100（最大）（初期値：100）</p>
鍵盤蓋による電源オフ	<p>鍵盤蓋を閉めたときに電源をオフにする（鍵盤蓋による電源オフ）</p> <p>鍵盤蓋を閉めたときに、電源をオフにするかしないかを選ぶことができます。</p> <p>有効（初期値） 鍵盤蓋を閉めると、電源がオフになります。</p> <p>無効 鍵盤蓋を閉めても、電源はオフになりません。電源をオフにするときは、[⏻] ボタンを押します。 ※ オートオフを設定している場合は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます。</p>
スピーカーオートミュート	<p>ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音を出す（スピーカーオートミュート）</p> <p>お買い上げ時の状態では、ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーから音が出ないように設定されています。設定を変更することで、ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音を出すこともできます。</p> <p>※ 「オフ」にすると、ヘッドホンから出力される音質は変わります。</p> <p>オフ ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音が出ます。</p> <p>オン（初期値） ヘッドホンからのみ音が出ます。</p>
オートオフ	<p>一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする（オートオフ）</p> <p>このピアノは演奏や操作をやめてから一定時間を経過すると、自動的に電源が切れます（工場出荷時の設定）。自動で電源を切る必要がない場合は、この機能を「オフ」に設定します。</p> <p>オフ、10分、30分、240分（初期値：30分）</p>
お気に入り設定の保存	
お気に入り設定の読込	<p>ピアノの設定や「お気に入りの設定」登録した設定を USB メモリーに保存して、同じ型番のピアノで読み込むことができます（P.23）。音楽教室と自宅のピアノを同じ設定にして演奏したいときなどに便利です。</p>
ピアノ設定の保存	<p>※ 同じ型番のピアノのみ、設定を読み込むことができます。</p>
ピアノ設定の読込	
メディアのフォーマット	<p>ピアノの内部メモリーまたは USB メモリーに保存されているすべてのファイルを消去することができます（P.21）。</p>
ファクトリーリセット	<p>ピアノに保存されている設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます（P.21）。</p>
バージョン	<p>ピアノのシステム・プログラム・バージョンを確認する（バージョン）</p> <p>このピアノのシステム・プログラムのバージョンを表示させます。</p> <p>新しいシステム・プログラムが公開された場合は、アップデートすることができます。詳細は以下の URL からご覧ください。 https://www.roland.com/jp/support/ 製品名入力→「アップデーター&ドライバー」参照</p>

鍵盤モード

鍵盤モードの基本設定

1. **[F4]** ボタンを押します。
[F4] ボタンが点灯し、鍵盤モードになります。
2. **[-] [+]** ボタンで設定する項目を選び、**[F2]** ボタンを押します。
※ 選んだ項目によっては、さらに項目を選ぶ画面が表示される場合があります。
3. **[-] [+]** ボタンで設定値を選びます。
4. **[F4]** ボタンを押して、鍵盤モードを終了します。
[F4] ボタンが消灯します。

表示	設定値/説明
鍵盤に関する設定	
鍵盤モード	全鍵 通常のアコースティック・ピアノと同じ鍵盤設定です。
	スプリット <p>右手と左手を違う音色で演奏する (スプリット演奏)</p> <p>ある鍵を境に鍵盤の左側と右側を違う音色で演奏することができます。このような演奏を「スプリット演奏」といいます (P.9)。</p> <p>左右の音色が分かれる位置 (鍵) を選びます。 ※ ポイントに選んだ鍵は、左手側に含まれます。</p> <p>ポイント</p> <p>メモ スプリット・ポイント画面を表示した状態で、[F4] ボタンを押しながら鍵盤を押す操作でも、スプリット・ポイントの指定ができます。</p> <p>バランス 左手音色と右手音色の音量バランスを選びます。</p> <p>左手シフト 左手で弾く音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。</p> <p>右手シフト 右手で弾く音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。</p>
	デュアル <p>1つの鍵盤で2つの音色を重ねて演奏する (デュアル演奏)</p> <p>1つの鍵盤で2つの音色を重ねて演奏することができます。このような演奏を「デュアル演奏」といいます (P.9)。</p> <p>バランス 2つの音色の音量バランスを選びます。</p> <p>音色1シフト 音色1の音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。</p> <p>音色2シフト 音色2の音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。</p>
	ツインピアノ <p>鍵盤を2つに分けて演奏する (ツインピアノ)</p> <p>鍵盤を左右に分けて、2人が同時に同じ音域を演奏することができます。一人がお手本を弾き、もう一人がそれを見ながら練習するといった使い方ができます。また、ツインピアノで演奏するときの鳴りかた (モード) を変えることもできます。</p> <p>※ 「グラウンド」グループの音色を選ぶと、聞こえかたが変わります。</p> <p>ツインピアノモード</p> <p>ペアモード (初期値) 右側領域の音は右スピーカーが大きく、左側領域の音は左スピーカーが大きく鳴ります。</p> <p>セパレートモード 右側領域の音は右スピーカーからのみ、左側領域の音は左スピーカーからのみ鳴ります。ヘッドホンを使うと相手側の演奏は聞こえません。</p>
	鍵盤の移調 <p>鍵盤の音域を、半音単位で高くしたり低くしたりできます (P.10)。</p> <p>たとえば、歌の伴奏や弾き語りをするときに演奏する鍵盤の位置を変えずに歌う人の音域に合わせることができます。</p> <p>-6 ~ 0 ~ +5 (初期値: 0)</p>
	キータッチ <p>鍵盤を弾いたときの手応え (タッチ感) を変えます (P.10)。初期値 50 がアコースティック・ピアノに一番近いタッチです。値が大きくなるほど鍵盤が重く感じられます。「Fix」にすると、鍵盤を弾く強さに関係なく、一定の音量で音が鳴ります。</p> <p>Fix, 1 ~ 100 (初期値: 50)</p>
	ハンマーレスボンス <p>鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節します (P.10)。値が大きくなるほど遅くなります。</p> <p>オフ, 1 ~ 10 (初期値: 1)</p>

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	原因/対策	ページ
ピアノの音に関するトラブル			
音が鳴らない	音量が小さくなっていませんか?	音量を上げてください。	P.6
	ヘッドホン端子にヘッドホンや変換プラグを差していませんか?	ヘッドホン端子にヘッドホンや変換プラグを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。	-
	ヘッドホンや外部スピーカーから音を鳴らす場合は、機器が正しく接続されていますか?		P.5
	スピーカー・ケーブルが正しく接続されていますか?		『スタンドの組み立てかた』参照
	外部シーケンサー等に接続している場合は、「ローカルコントロール」の設定が「オフ」になっていませんか?	ファンクション・モードで「ローカルコントロール」を「オン」にしてください。	P.26
鍵盤や曲の音程、ピッチがずれている	移調の設定をしていませんか?	鍵盤モードの「鍵盤の移調」、ファンクション・モードの「曲の移調」の設定で、移調を解除してください。	P.10 P.24
	チューニングの設定は適切ですか?	お買い上げ時の基準ピッチは、「442.0Hz」に設定されています。ピアノデザイナー機能の「マスターチューニング」の設定を確認してください。	P.17
	調律法の設定は適切ですか?	お買い上げ時の調律法は、「平均律」に設定されています。ピアノデザイナー機能の「調律法」の設定を確認してください。	P.17
	88 鍵チューニングの設定は適切ですか?	ピアノデザイナー機能の「ピアノ音色の設定」の 88 鍵設定を確認してください。	P.18
鍵盤を弾くと 2 つの音が鳴る	2 つの音色を重ねる「デュアル演奏」の設定がされていませんか?	鍵盤モードの「デュアル」を「全鍵」に変更してください。	P.9
	外部シーケンサー等に接続していませんか?	別の音源から鳴らないようにするには、お使いの音楽制作ソフトウェアの「ソフト・スルー」の設定を「オフ」にしてください。 ファンクション・モードで「ローカルコントロール」が「オン」になっている場合は、「オフ」にしてください。	- P.26
音の響き効果をオフにしても残響音がする	アコースティック・ピアノの奥行きや響きも忠実に再現しているため、故障ではありません。音の響き効果をオフにしても、アコースティック・ピアノ本来の響きが残ります。	ピアノデザイナー機能の「キャビネットレゾナンス」の値を下げることで残響音を少なくすることもできます。	P.18
高音部で、ある鍵盤から音が急に変わる	アコースティック・ピアノの特徴を再現しているため、故障ではありません。鍵あたりの弦の本数や、巻線/単線の境目では音色が変わります。		-
鍵盤を押したとき、押していない鍵盤の音もかすかに聞こえる	鳴らしている音の倍音（整数倍の振動数をもつ音）が共鳴して、響きが変わったように聞こえる場合がありますが、故障ではありません。	ピアノデザイナー機能の「全鍵ストリングレゾナンス」の設定値を下げるか、「オフ」にしてください。	P.18
「キーン」という音がする	ヘッドホンからは聞こえないとき ピアノに何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店または当社サポート窓口にお問い合わせください。		
	ヘッドホンからも聞こえるとき 「キーン」という金属的な響きを少なくするには、以下の設定を調整してください。 • キーボードアンビエンス (P.8) • ピアノデザイナー「全鍵ストリングレゾナンス」(P.18)		-
低音がおかしい/ビリビリと共鳴する	音量を最大にしていませんか?	音量を最大にすると、演奏方法によっては音がひずむことがあります。その場合は音量を下げてください。	P.6
	ヘッドホンからも聞こえるとき 音量を下げても解消されない場合は、ピアノに何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店または当社サポート窓口にお問い合わせください。		
	ヘッドホンからは聞こえないとき 音量を下げても解消されない場合は、ピアノ周辺のものが共鳴している可能性があります。共鳴を抑えるには、次のことにご注意ください。 • ピアノを壁などから 10 ~ 15cm 離して設置する • 共鳴している器具などから遠ざける		-
ノイズが出る	ピアノの音を鳴らしながら、マスターチューニングや調律法を変更していませんか?	「グラウンド」グループの音色では、音源システムの構造上、音を鳴らしながらマスターチューニングや調律法を変えるとノイズが出る場合がありますが、故障ではありません。	-
音色の設定によって聞こえかたが変わる	2 つの音色を重ねる「デュアル演奏」や左手と右手で違う音色にする「スプリット演奏」では、音色の組み合わせによって聞こえかたが変わることがあります。組み合わせによって左手音色、音色 2 にエフェクトがかからないため、故障ではありません。		-

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	原因/対策	ページ
ペダルに関するトラブル			
ペダルを踏んだときに異音が出る	ペダル下にあるアジャスターが床から浮いていませんか?	ペダルを使用するにつれ、アジャスターが緩んだ可能性があります。アジャスターを回して下げ、床に当たるように調節してください。カーペットの上などに設置しているときは、床面を強く押し付ける(床に突っ張る)ぐらいに下げてください。	『スタンドの組み立てかた』参照
ペダルが効かない/効きっぱなしになる	ペダル・コードが正しく接続されていますか?	ピアノ本体底面にあるペダル端子を確認してください。	-
	ピアノの電源を入れたまま、ペダル・コードを抜き差ししていませんか?	ピアノの電源を入れたままペダル・コードを抜くと、ペダルの効果がかかったままになることがあります。ペダル・コードを抜き差しするときは、ピアノの電源を切ってください。	-
	ペダルの効果のかけかたを変えていませんか?	右ペダル部分を「右手」に設定していると右手音色のみ、「左手」に設定していると左手音色のみに効くようになります。	P.25
	「ツインピアノ」がオンになっていませんか?	「ツインピアノ」をオンにすると、右ペダルは右側鍵盤のみ、左ペダルは左側鍵盤のみに効くようになります。	P.28
	ペダルのはたらきを変えていませんか?	中央ペダルまたは左ペダルのはたらきを変えていると、マフラー・ペダル/ソステヌート・ペダルまたはソフト・ペダルとしてはお使いいただけません。 「中央ペダル機能」「左ペダル機能」の設定を戻してください。	P.25
曲の再生に関するトラブル			
曲の中の、ある楽器の音だけが鳴らない	【🎹】 ボタンを押すと、画面上で消えているパート(右手、左手、伴奏)はありませんか?	画面上で消灯しているパートの音は鳴りません。消灯しているパートを選んで点灯させ、音が鳴るようにしてください。	P.13
曲が鳴らない/音量が小さい	「曲ボリューム」の値が小さくなっていませんか?	曲のデータ形式によって、「曲ボリューム SMF」または「曲ボリューム AUDIO」の値を上げてください。	P.24
「曲ボリューム」の値を変えても音量が変わらない	「SMF 再生モード」を「内蔵曲」に設定していませんか?	「SMF 再生モード」を「外部データ」に設定してください。	P.25
曲を再生すると選んでいる音色が変わってしまう	「SMF 再生モード」を「内蔵曲」に設定していませんか?	「SMF 再生モード」を「外部データ」に設定してください。	P.25
USB メモリーに保存されている曲を再生できない	ファイルの拡張子は「.WAV」、「.MP3」または「.MID」ですか?	このピアノで再生できるファイルは、WAV 形式または MP3 形式のオーディオ・ファイルと、MIDI ファイルの 3 種類です。	P.13
USB メモリーに保存されているファイルの曲名が表示されない	ファイルの拡張子は「.MID」ですか? また、ファイル内の曲名情報が空もしくはスペースのみになっていませんか?	MIDI ファイルのみピアノ画面に曲名を表示できます。ファイル内の曲名情報が空もしくはスペースのみの場合は、ピアノ画面に曲名は表示されません。	-
Input 端子につないだ機器の音量が小さい	接続している機器の音量が小さくなっていませんか?		-
	インプットボリュームが小さくなっていませんか?		P.24
録音に関するトラブル			
録音できない	【🎹】 ボタンを押して、録音するパートが画面上で点滅していますか?	画面上で録音するパートを選んで、点滅している状態にしてください。	P.16
オーディオ録音できない	USB Memory 端子に USB メモリーを接続していますか?	オーディオ録音は、USB メモリーを接続しないと録音できない仕様になっています。	P.25
録音と再生で音量が違う	「曲ボリューム」の値が小さくなっていませんか?	曲のデータ形式によって、「曲ボリューム SMF」または「曲ボリューム AUDIO」の値を上げてください。	P.24
録音するとピアノの音質が変わってしまう	ピアノデザイナー機能で作った音色で録音していませんか?	ピアノデザイナー機能の一部の設定は、曲を再生したときに再現されないことがあります。	-
	USB メモリーにオーディオ録音した曲を再生していませんか?	鍵盤演奏するときと同じ音質で録音したい場合は、SMF 録音してください。	-
その他のトラブル			
電源が入らない	電源コードが正しく接続されていますか?		『スタンドの組み立てかた』参照
電源が勝手に切れる	一定時間使用していないと電源を自動的に切る設定がされていませんか?	自動で電源を切る必要がない場合は、オートオフ機能の設定を「オフ」にしてください。	P.27
操作パネルのボタンが効かない	操作パネルを消灯させていませんか?	操作パネルを消灯させているときは、【🎹】 つまみと【🎵】 ボタン以外のボタンは効きません。【🎵】 ボタンを押すと、操作パネルが点灯しボタンが効くようになります。	P.6
	誤操作を防ぐ「パネル・ロック」が設定されていませんか?	「パネル・ロック」を解除してください。	P.22
	パネルが濡れていませんか?	水分を拭き取るか乾かしてからお使いください。	-
	電源を入れたときにタッチ・スイッチ(ボタン)に触れていませんか?	電源を入れ直してください。	P.6

症状	確認事項	原因/対策	ページ
ヘッドホンを使って消音しても、鍵盤を弾くとカタカタ鳴る	このピアノの鍵盤は、アコースティック・ピアノの構造をシミュレートして設計されています。アコースティック・ピアノの場合でも、鍵盤を押したときに打鍵音が実際に出ています。打鍵音がカタカタ鳴っていても故障ではありません。		-
ピアノの布地部分に跡がつく	譜面立ての周りや足もとの布地部分に手足やものが触れると布地がたわみ、跡が残ったり変色して見えたりすることがありますが、製品性能上問題はありません。		-

こんな表示が出たら (エラー・メッセージ)

表示	意味
エラー 2	書き込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください (P.21)。内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーを初期化してください (P.21)。
エラー 10	USB メモリーが挿入されていません。USB メモリーを挿入してから、もう一度操作してください。内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーを初期化してください (P.21)。
エラー 11	保存先の空き容量が足りません。別の USB メモリーを挿入するか、不要なファイルを削除してもう一度操作してください (「録音した曲を削除する」(P.15))。
エラー 14	読み込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください (P.21)。内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーを初期化してください (P.21)。
エラー 15	ファイルを読むことができません。本機が対応していないデータ形式です。
エラー 18	対応していないオーディオ・フォーマットです。WAV 形式 (44.1kHz、16 ビット・リニア) または MP3 形式のオーディオ・ファイルを使用してください。
エラー 30	本機の記憶容量が足りません。
エラー 40	MIDI から一度にたくさんの MIDI データが送られてきたため、本機で処理できません。MIDI から送信されるデータ量を減らしてください。
エラー 43	MIDI 通信でエラーが発生しました。接続している MIDI 機器を確認してください。
エラー 51	システムに異常がある可能性があります。操作をやり直してください。何度か操作をやり直してもこの表示が出る場合は、当社サポート窓口にご連絡ください。
エラー 65	USB Memory 端子に過大な電流が流れました。USB メモリーに異常がないか確認したあと、電源を入れ直してください。
エラー 71	Bluetooth 機能でエラーが発生しました。電源を入れ直してください。何度か電源を入れ直してもこの表示が出る場合は、当社サポート窓口にご連絡ください。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品 (電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど)

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品 (ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など)

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



音色一覧

グランド

No.	音色名
1	コンサートピアノ
2	ステージピアノ
3	レッスンピアノ (*)
4	響-ひびき-ピアノ (*)
5	キラキラピアノ (*)
6	メロウピアノ
7	ブライトピアノ

メモ

ピアノデザイナー「ピアノ音色の設定」は、「グランド」グループの音色のみ有効です。

アップライト/クラシカル

No.	音色名
アップライト	
1	アップライト
2	メロウUP
3	ブライトUP
4	ロックピアノ
5	ラグタイムピアノ
クラシカル	
6	フォルテピアノ
7	メロウフォルテ
8	ブライトフォルテ
9	ハープシコード
10	ハープシコード 8' +4'

E. ピアノ/オルガン

No.	音色名
E. ピアノ	
1	ステージEP
2	トレモロEP
3	ポップEP
4	ビンテージEP
5	ステージフェイザー
6	60's EP
7	FM E. ピアノ
8	EP ベル
9	70' s EP
10	E. グランド
11	マジカルピアノ
12	クラビ
オルガン	
13	パイプオルガン
14	ネイゾンフルート
15	チャーチオルガン 1
16	チャーチオルガン 2
17	コンボオルガン
18	バラードオルガン
19	ゴスペルスピン
20	フルストップ
21	メロウパー
22	ライトオルガン
23	ロワーオルガン
24	60's オルガン

サウンドコレクション

No.	音色名
おたのしみ	
1	ゲームサウンド 1 (*)
2	ゲームサウンド 2 (*)
3	ゲームサウンド 3 (*)
4	電車発車メロディ (*)
5	ダイナミック JD ピアノ (*)
6	オクターブ UP ピアノ (*)
7	オクターブ DOWN ピアノ (*)
8	フェイズエレピ (*)
9	スーパーシンセパッド (*)
10	トランスシンセ (*)
11	ナイロンギター / スライド (*)
12	エレキベース / スラップ (*)
ストリングス	
13	スロー Str1
14	エピック Str

No.	音色名
15	リッチ Str
16	アタック Str
17	スロー Str2
18	バイオリン
19	チェロ
20	オーケストラ Str
21	オーケストラ
22	Orch プラス
23	ソフトパッド
24	ウインズ
25	フルート
26	ハープ
27	ピチカート
28	ベース + シンバル
ボイス	
29	ジャズスカット
ドレミ	
30	ドレミ 2 [#]
31	ドレミ 2 ^b
32	ドレミ 1 [#]
33	ドレミ 1 ^b
ドラム	
34	Std セット
35	ルーム・セット
36	パワー・セット
37	Elec セット
38	アナログ・セット
39	ジャズ・セット
40	ブラシ・セット
41	Orch セット
42	SFX セット
GM2	
43	ピアノ 1
44	ピアノ 1w
45	ピアノ 1d
46	ピアノ 2
47	ピアノ 2w
48	ピアノ 3
49	ピアノ 3w
50	ホンキートンク
51	ホンキートンク w
52	E. ピアノ 1
53	デチューン EP1
54	ビンテージ EP
55	60's E. ピアノ
56	E. ピアノ 2
57	デチューン EP2
58	St.FM EP
59	EP レジエンド
60	EP フェーザー
61	ハープシコード
62	カップルドハープシ

No.	音色名
63	ハープシコード w
64	ハープシコード o
65	クラビ
66	パルス・クラビ
67	チェレスタ
68	グロッケン
69	オルゴール
70	ビブラフォン
71	ビブラフォン w
72	マリンバ
73	マリンバ w
74	木琴
75	チューブラーベル
76	チャーチ・ベル
77	カリヨン
78	サントウール
79	オルガン 1
80	トレモロオルガン
81	60's オルガン
82	オルガン 2
83	パーカスオルガン 1
84	コーラスオルガン
85	パーカスオルガン 2
86	ロック・オルガン
87	チャーチオルガン 1
88	チャーチオルガン 2
89	チャーチオルガン 3
90	リード・オルガン
91	パフ・オルガン
92	アコーディオン 1
93	アコーディオン 2
94	ハーモニカ
95	バンドネオン
96	ナイロン弦ギター
97	ウクレレ
98	ナイロン弦ギター o
99	ナイロン弦ギター 2
100	スチール弦ギター
101	12 弦ギター
102	マンドリン
103	スチール + ボディ
104	ジャズ・ギター
105	ハワイアンギター
106	クリーン・ギター
107	コーラスギター 1
108	ミッドトーン Gt
109	ミュート・ギター
110	ファンクギター 1
111	ファンクギター 2
112	コーラスギター 2
113	オーバードライブ Gtr
114	ギター・ピンチ

No.	音色名	No.	音色名	No.	音色名	No.	音色名
115	ディストーション Gtr	167	ブライト Tb	219	アイトピア	271	馬の疾走
116	フィードバック 1	168	チューバ	220	ボウ・グラス	272	鳥の声 2
117	Dist リズム Gtr	169	ミュート Tp1	221	メタリックパッド	273	電話のベル 1
118	Gt ハーモニクス	170	ミュート Tp2	222	ハロー・パッド	274	電話のベル 2
119	フィードバック 2	171	フレンチホルン 1	223	スウィープパッド	275	ドアのきしみ
120	A. ベース	172	フレンチホルン 2	224	アイス・レイン	276	ドア
121	フィンガーベース	173	ブラス 1	225	サウンドトラック	277	スクラッチ
122	フィンガー Slp	174	ブラス 2	226	クリスタル	278	ウィンドチャイム
123	ピック・ベース	175	シンセ・ブラス 1	227	シンセ・マレット	279	ヘリコプター
124	フレットレス Bs	176	シンセ・ブラス 3	228	アトモスフィア	280	車のエンジン
125	スラップベース 1	177	アナログブラス 1	229	ブライトネス	281	車の急停止
126	スラップベース 2	178	ジャンプ・ブラス	230	ゴブリン	282	車の通過音
127	シンセ・ベース 1	179	シンセ・ブラス 2	231	エコー・ドロップ	283	車の衝突
128	ウォーム・ベース	180	シンセ・ブラス 4	232	エコー・ベル	284	サイレン
129	シンセ・ベース 3	181	アナログブラス 2	233	エコー・パン	285	列車
130	クラビ・ベース	182	ソプラノサクソ	234	スター・テーマ	286	ジェット機
131	ハンマー・ベース	183	アルト・サクソ	235	シタール 1	287	宇宙船
132	シンセ・ベース 2	184	テナー・サクソ	236	シタール 2	288	バースト・ノイズ
133	シンセ・ベース 4	185	バリトンサクソ	237	バンジョー	289	拍手
134	ラバー・ベース	186	オーボエ	238	三味線	290	笑い声
135	アタック・パルス	187	Eng ホルン	239	琴	291	叫び声
136	バイオリン	188	バスーン	240	大正琴	292	パンチ
137	スローバイオリン	189	クラリネット	241	カリンバ	293	心臓の鼓動
138	ビオラ	190	ピッコロ	242	バグパイプ	294	足音
139	チェロ	191	フルート	243	フィドル	295	ピストル
140	コントラバス	192	リコーダー	244	シャナイ	296	マシンガン
141	トレモロ Str	193	パン・フルート	245	ティンクル・ベル	297	レーザーガン
142	ピチカート	194	ボトル・ブロー	246	アゴゴ	298	爆発音
143	ハーブ	195	尺八	247	スチール・ドラム		
144	ヤンチン	196	ホイッスル	248	ウッドブロック		
145	ティンパニ	197	オカリナ	249	カスタネット		
146	ストリングス	198	Sqr リード 1	250	太鼓		
147	オーケストラ	199	Sqr リード 2	251	大太鼓		
148	60's ストリングス	200	サイン・リード	252	Melo タム 1		
149	スロー Str	201	ソー・リード 1	253	Melo タム 2		
150	シンセ Str1	202	ソー・リード 2	254	シンセ・ドラム		
151	シンセ Str3	203	ドクター・ソロ	255	TR-808 タム		
152	シンセ Str2	204	ナチュラルリード	256	E パーカッション		
153	クワイア 1	205	シーケンス・ソー	257	リバースシンバル		
154	クワイア 2	206	シンセ・カリオペ	258	フレット・ノイズ		
155	ボイス	207	チファー・リード	259	Gt カットノイズ		
156	ハミング	208	チャラング	260	スラップ・ノイズ		
157	シンセ・ボイス	209	ワイヤー・リード	261	プレス・ノイズ		
158	アナログ・ボイス	210	ソロ・ボックス	262	キー・クリック		
159	Orch ヒット	211	5th ソーリード	263	波		
160	ベース・ヒット	212	ベース+リード	264	雨		
161	6th ヒット	213	ディレイ・リード	265	雷		
162	ユーロ・ヒット	214	ファンタジア	266	風		
163	トランペット	215	ウォーム・パッド	267	せせらぎ		
164	ダーク Tp	216	サイン・パッド	268	泡		
165	トロンボーン 1	217	ポリシンセ	269	鳥の声 1		
166	トロンボーン 2	218	スペース・ボイス	270	犬の鳴き声		

※ (*) マークの付いている音色は、LX-6GP オリジナル・コンテツです。

内蔵曲一覧

No.	曲名	作者
リスニング		
1	バラード 第1番	ショパン
2	飛翔	シューマン
3	きらきら星変奏曲	モーツァルト
4	歓喜の歌 (ジャズ・アレンジ)	ベートーベン
5	惑星より「木星」 (ジャズ・アレンジ)	ホルスト
6	ノクターン 第2番	ショパン
7	水の戯れ	ラヴェル
8	アメイジング・グレイス	讃美歌
9	エリーゼのために (ジャズ・アレンジ)	ベートーベン
10	ピアノ・ソナタ 第14番「月光」第1楽章	ベートーベン
11	ピアノ・ソナタ 第14番「月光」第2楽章	ベートーベン
12	ピアノ・ソナタ 第14番「月光」第3楽章	ベートーベン
13	わが恋はここに (Love Is Here To Stay)	ジョージ・ガーシュイン
14	献呈	シューマン、リスト編曲
15	革命のエチュード	ショパン
16	舟歌	ショパン
17	ひばり	グリンカ、バラキレフ編曲
18	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第1楽章	ベートーベン
19	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第2楽章	ベートーベン
20	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第3楽章	ベートーベン
21	ワルツ 作品 34-1	ショパン
22	英雄ポロネーズ	ショパン
23	ノクターン 第20番	ショパン
24	ます	シューベルト、リスト編曲
25	水の反映	ドビュッシー
26	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
27	ラ・カンパネラ	リスト
28	スケルツォ 第2番	ショパン
GP コレクション		
1	Subtitle (*1)	藤原 聡
2	群青 (*1)	Ayase
3	まつり (*1)	藤井 風
4	ビューティー・アンド・ザ・ビースト (*1)	アラン・メンケン
5	あの夏へ (*1)	久石 譲
6	ラプソディー・イン・ブルー (*1)	ジョージ・ガーシュイン
7	ジムノペディ第一番 (*1)	サティ
8	ピアノ・ソナタ ハ長調 K.545 第1楽章 (*1)	モーツァルト
9	乙女の祈り (*1)	バダジェフスカ
10	雨だれの前奏曲 (*1)	ショパン

No.	曲名	作者
アンサンブル ※楽譜集「ローランド ピアノ名曲集」に対応しています。		
1	ピアノ協奏曲 第1番 (*2)	チャイコフスキー
2	ピアノ協奏曲 第2番 (*2)	ラフマニノフ
3	パッヘルベルのカノン (ジャズ・アレンジ) (*2)	パッヘルベル
4	シシリエンヌ (ジャズ・アレンジ) (*2)	フォーレ
5	ドリーより「子守歌」	フォーレ
6	マ・メール・ロワより「妖精の園」	ラヴェル
7	四季より「春」 (*2)	ビバルディ
8	軍隊行進曲 (*2)	シューベルト
9	眠れる森の美女より「ワルツ」 (*2)	チャイコフスキー
10	魔法使いの弟子 (*2)	デュカス
11	愛のあいさつ	エルガー
12	亡き王女のためのパヴァーヌ	ラヴェル
13	メヌエット 長調	J.S. バッハ
14	前奏曲	J.S. バッハ
15	トルコ行進曲	モーツァルト
16	エリーゼのために	ベートーベン
17	トルコ行進曲	ベートーベン
18	歌の翼に	メンデルスゾーン
19	別れの曲	ショパン
20	小犬のワルツ	ショパン
21	幻想即興曲	ショパン
22	トロイメライ	シューマン
23	お人形の夢と目覚め	オースティン
24	婚礼の合唱	ワーグナー
25	愛の夢 第3番	リスト
26	ハンガリア舞曲 第5番	ブラームス
27	月の光	ドビュッシー
28	アラベスク 第1番	ドビュッシー
29	ゴリウオッグのケーキウォーク	ドビュッシー
30	おまえが欲しい	サティ
エンターテイメント ※楽譜集「ローランド ピアノ名曲集」に対応しています。		
1	いつか王子様が	フランク・チャーチル
2	ハイ・ホー	フランク・チャーチル
3	ミッキー・マウス・マーチ	ジミー・ドッド
4	レット・イット・ゴー〜ありのまままで〜	クリスティン・アンダーソン=ロパス、ロバート・ロパス
5	アンダー・ザ・シー	アラン・メンケン
6	アンパンマンのマーチ	三木 たかし
7	夢をかなえてドラえもん	黒須 克彦
8	さんぽ	久石 譲
9	だったん人の踊り	ボロディン
10	オンブラ・マイ・フ	ヘンデル
11	私を泣かせてください	ヘンデル
12	きらきら星	フランス民謡
13	メリーさんのひつじ	外国曲
14	もりのくまさん	アメリカ民謡
15	山の音楽家	ドイツ民謡
16	大きな古時計	ヘンリー・ワーク
17	花	滝 廉太郎
18	浜辺の歌	成田 為三

No.	曲名	作者
19	紅葉	岡野 貞一
20	雪	文部省唱歌
21	ハッピー・バースディ	M. ヒル、P. ヒル
22	ジングル・ベル	ピアポント
23	クリスマスおめでとう	クリスマス・キャロル
24	きよしこの夜	フランツ・グルーバー
25	蛍の光	トラディショナル
26	ラベンダーズ・ブルー	トラディショナル
27	オーラ・リー	ジョージ・R・プールトン
28	アメイジング・グレイス	讃美歌
29	茶色の小瓶	ジョセフ・ウィナー
30	聖者が街にやってくる	アメリカ民謡
31	グリーン・スリーブス	トラディショナル
32	恋に落ちた時	ビクター・ヤング
33	朝日のごとくさわやかに	シグマンド・ロンバーグ
34	時の過ぎゆくままに	ハーマン・フップフェルド
35	サマータイム	ジョージ・ガーシュイン
36	ムーンライト・セレナーデ	グレン・ミラー
37	メープル・リーフ・ラグ	スコット・ジョップリン
38	エンターテイナー	スコット・ジョップリン
39	ティコ・ティコ	ゼキーニャ・ジ・アブレウ
40	二人でお茶を	ビンセント・ユーマンス
ドレミでうたおう ※楽譜集『ローランド ピアノ名曲集』に対応しています。		
1～15	練習 1～15	ローランド株式会社
16	きらきら星	フランス民謡
17	ぶんぶんぶん	トラディショナル
18	かえるの合唱	ドイツ民謡
19	かっこう	トラディショナル
20	おお!スザンナ	フォスター
21	手をたたきましょう	トラディショナル
22	これはなんとすばらしい音だ	モーツァルト
23	ブラームスの子守歌	ブラームス
24	スケーターズ・ワルツ	ワルトトイフェル
25	メヌエット	バッハ
26	故郷の人々	フォスター
27	ひいらぎかざろう	讃美歌
28	ダニー・ボーイ	アイルランド民謡
29	コロブチカ	ロシア民謡
30	さくらさくら	日本古謡
スケール ※楽譜集『ローランド ピアノ名曲集』に対応しています。		
1～36	長調、短調(ハーモニック、メロディック)	—
ハノン		
1～20	1～20 番	ハノン
バイエル		
1～106	1～106 番	バイエル

No.	曲名	作者
ブルグミュラー		
1	素直な心	
2	アラバスク	
3	牧歌	
4	子供のパーティー	
5	無邪気	
6	前進	
7	清いながれ	
8	優美	
9	狩	
10	やさしい花	
11	せきれい	
12	お別れ	
13	なぐさめ	ブルグミュラー
14	ステイリエンヌ	
15	バラード	
16	小さな嘆き	
17	おしゃべり	
18	不安	
19	アヴェ・マリア	
20	タランテラ	
21	天使の声	
22	舟歌	
23	家路	
24	つばめ	
25	真婦人の乗馬	
ツェルニー 100 番		
1～100	1～100 番	ツェルニー

- ※ 著作権の都合上、「エンターテイメント」カテゴリーの一部の曲は楽譜集に掲載されていません。
- ※ これらの内蔵曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。
- ※ (*1) マークの付いている曲は、LX-6GP オリジナル・コンテンツです。
- ※ (*2) マークの付いている曲は、ローランド株式会社によるアレンジです。著作権はローランド株式会社が所有しています。
- ※ リスニング・カテゴリーはピアノ・ソロ曲です。伴奏はついていません。
- ※ ハノン、バイエル、ブルグミュラー、ツェルニー 100 番は市販の楽譜をお買い求めください。
- ※ 音色デモや内蔵曲の演奏データは、USB Computer 端子と Bluetooth (MIDI) からは出力されません。
- ※ SMF 再生モード (P.25) を「内蔵曲」に設定しているときは、曲ボリューム SMF (P.24) の値を変えても音量が変わらないパートがあります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。

リズム・パターン一覧

No.	パターン名	ドラム・セット	拍子
1	8Beat1	STANDARD	4/4
2	8Beat2	STANDARD	4/4
3	8Beat3	STANDARD	4/4
4	8Beat4	STANDARD	4/4
5	8Beat5	STANDARD	4/4
6	8Beat6	STANDARD	4/4
7	8Beat7	STANDARD	4/4
8	8Beat8	STANDARD	4/4
9	8Beat9	STANDARD	4/4
10	8Beat10	STANDARD	4/4
11	8Beat11	STANDARD	4/4
12	8Beat12	STANDARD	4/4
13	8Beat13	STANDARD	4/4
14	8Beat14	STANDARD	4/4
15	8Beat15	BRUSH	4/4
16	8Beat16	STANDARD	4/4
17	Shuffle1	STANDARD	4/4
18	Shuffle2	STANDARD	4/4
19	Shuffle3	STANDARD	4/4
20	Shuffle4	STANDARD	4/4
21	Shuffle5	STANDARD	4/4
22	Shuffle6	STANDARD	4/4
23	12/8Beat1	STANDARD	12/8
24	12/8Beat2	STANDARD	12/8
25	12/8Beat3	STANDARD	12/8
26	12/8Beat4	STANDARD	12/8
27	16Beat1	STANDARD	4/4
28	16Beat2	STANDARD	4/4
29	16Beat3	STANDARD	4/4
30	16Beat4	STANDARD	4/4
31	16Beat5	STANDARD	4/4
32	16Beat6	BRUSH	4/4
33	4Beat1	STANDARD	4/4
34	4Beat2	STANDARD	4/4
35	4Beat3	STANDARD	4/4
36	1/4NoteTriplet	STANDARD	4/4
37	2Bass 4Beat	STANDARD	4/4
38	Jazz1	JAZZ	4/4
39	Jazz2	JAZZ	4/4
40	Jazz3	JAZZ	4/4
41	Jazz4	JAZZ	4/4
42	Jazz5	BRUSH	4/4
43	JazzWaltz1	JAZZ	3/4
44	JazzWaltz2	BRUSH	3/4
45	5/4Jazz	JAZZ	5/4
46	Waltz	ORCHESTRA	3/4
47	ViennaWaltz	ORCHESTRA	3/4
48	Tango1	STANDARD	4/4
49	Tango2	STANDARD	4/4
50	Bolero	ORCHESTRA	3/4
51	BossaNova	STANDARD	4/4
52	Samba	STANDARD	4/4

No.	パターン名	ドラム・セット	拍子
53	Reggae1	STANDARD	4/4
54	Reggae2	STANDARD	4/4
55	Reggae3	STANDARD	4/4
56	Afro-Cuban1	STANDARD	4/4
57	Afro-Cuban2	STANDARD	4/4
58	Afro-Cuban3	STANDARD	4/4
59	Afro-Cuban4	STANDARD	4/4
60	Afro-Cuban5	STANDARD	12/8
61	Country1	BRUSH	4/4
62	Country2	BRUSH	4/4
63	Country3	BRUSH	4/4
64	Disco1	STANDARD	4/4
65	Disco2	STANDARD	4/4
66	EDM1	ELECTRIC	4/4
67	EDM2	ELECTRIC	4/4
68	EDM3	ELECTRIC	4/4
69	EDM4	ELECTRIC	4/4
70	EDM5	ELECTRIC	4/4
71	EDM6	ELECTRIC	4/4
72	EDM7	ANALOG	4/4
73	EDM8	ANALOG	4/4
74	EDM9	ANALOG	4/4
75	Clap2-4	STANDARD	4/4
76	Shaker	STANDARD	4/4
77	SonClave3-2	STANDARD	4/4
78	RumbaClave3-2	STANDARD	4/4
79	SonClave2-3	STANDARD	4/4
80	RumbaClave2-3	STANDARD	4/4

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

▲警告と▲注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。

図記号の例

	▲は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、▲の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

オート・オフ機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オート・オフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください（P.27）。 

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。 

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。 

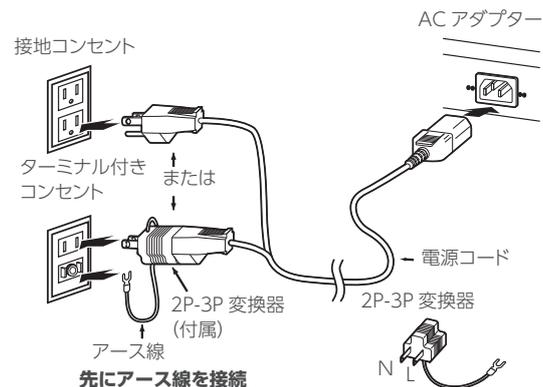
電源コードのアースを確実に取り付け

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります。下記、「電源コードの接続」をご覧ください。 

電源コードの接続

 感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。



- コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合そのままコンセントにプラグを差し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付きコンセント（端子穴が 2 個）の場合プラグに 2P-3P 変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。

 **警告**：アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースをはずすときは必ず、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事に接地工事を依頼してください。

注意

移動するときの注意

本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の上に落としたりしないように注意してください。 

- 機器本体とスタンドを固定しているネジが緩んでいないか、確認する。緩んでいる場合は、しっかり固定する。
- 電源コードをはずす。
- 外部機器との接続をはずす。
- ペダルのアジャスターを上げる（P.5）。
- 鍵盤蓋を閉じる。
- 譜面立てを戻す。

指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。 

- 鍵盤蓋（P.6）
- 譜面立て（P.7）
- ペダル（P.7）

椅子を使用するときの注意

椅子を使用するときは、必ず次の事項を守ってください。 

- 椅子で遊んだり、踏み台にしたりしない。
- 2 人以上で腰掛けない。
- 腰掛けたままで、高さ調節しない。
- 椅子の脚を止めているボルトが緩んでいたら、腰掛けない。（緩みがあるときは随時付属の工具で締め直してください）
- シート下の隙間（昇降装置の金属部）には絶対に手を入れないでください。手をはさんだりけがをしったりする恐れがあります。 

小さな部品はお子様手の届かないところに置く

下記の部品はお様が誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。 

- 付属品
- ネジ類
- 取りはずしが可能な部品
- 手回しネジ

使用上のご注意

電源について

- ACアダプターは、インジケーターのある面が上になるように設置してください。ACアダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

設置について

- 至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ場所を照らさないでください。変形、変色することがあります。
- 鍵盤の上にもものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。

お手入れについて（鏡面仕上げを除く）

- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。木目にそって全体を均一の力で拭くようにします。同じ所ばかり強くこすると、仕上げを損なうことがあります。

鍵盤の取り扱いについて

- ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。
- シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ひどい汚れを落とすときは、研磨剤が入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷がつかないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

お手入れについて（鏡面仕上げ）

- 本機の塗装は鏡面仕上げになっており、美しい表面は、高級木工家具同様デリケートですので、正しい定期的なお手入れが必要です。必ず以下に従ってお手入れをしてください。
- お手入れは、柔らかい布やピアノ用の毛ばたきで軽く拭いてください。小さな砂ぼこりでも、強く拭くと細かなすり傷が付くことがありますのでご注意ください。
- 仕上げ面の艶（つや）がなくなってきたときは、外装手入れ剤を含ませた柔らかい布でムラなく拭きあげてください。
- 各種洗剤などは、塗装面を変質させ、ひび割れなどの原因となりますので使用しないでください。また、化学ぞうきんは使わないでください。

外装手入れ剤についてのご注意

- ご使用方法については、外装手入れ剤の取扱説明書をご覧ください。
- 必ずピアノ鏡面塗装用のものをご利用ください。それ以外のものを利用すると、傷や変形・変色などの原因となります。お求めは、最寄りの楽器店にご相談ください。
- 本機の鏡面仕上げ部分にのみ使用し、表面全体を均一の力で丹念に拭いてください。同じところばかり強くこすると、仕上げ面の光沢を損なう恐れがあります。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。万が一飲み込んでしまった場合は、直ちに吐かせてください。その後、医師の診断を受けてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造切後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または当社サポート窓口にご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がからないように注意しましょう。
- 譜面立てを使用するときは、譜面立てに強い力を加えないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
- 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
- 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
- 本製品を分解／改造する
- 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
- 本製品を購入した国以外で使用する
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）について当社サポート窓口にご相談ください。
- その他、発生した問題についてお困りの場合も、当社サポート窓口にご相談ください。
- ※ 当社サポート窓口への連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- **Bluetooth®** のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.
 Copyright © 2018 STMicroelectronics. All rights reserved.
 Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Copyright © 2018 STMicroelectronics. All rights reserved.
 This software component is licensed by ST under BSD 3-Clause license, the "License";

You may obtain a copy of the License at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

Copyright © 2017, Texas Instruments Incorporated. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL <COPYRIGHT HOLDER> BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 本製品は Jansson (<http://www.digip.org/jansson/>) ソースコードを使用しています。

Copyright © 2009-2016 Petri Lehtinen
 <petri@digip.org> Released under the MIT license;
<http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

- 本製品に搭載されている「中国語フォント MORISAWA SONG GB2312BMP12」は株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。

主な仕様

音源	ピアノ・リアリティ・モデリング音源
鍵盤	ハイブリッド・グランド鍵盤 (88 鍵ハンマーアクション鍵盤) : エスケープメント付、白鍵=象牙調、黒鍵=黒檀調、ハイ・プレジジョン・センシング対応
Bluetooth	Bluetooth 標準規格 Ver 5.0 対応プロファイル: A2DP (オーディオ)、GATT (MIDI over Bluetooth Low Energy) 対応コーデック: SBC (SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応)
電源	AC アダプター
消費電力	28W (付属 AC アダプター使用時) ※ ボリュームを中央値にしてピアノ演奏したときの消費電力の目安: 19W ※ 電源投入後、音を鳴らしていない状態の消費電力: 18W
外形寸法	1,383 (幅) × 493 (奥行) × 1,118 (高さ) mm
質量	87.0kg
付属品	取扱説明書、楽譜集『ローランド ピアノ名曲集』、『安全上のご注意』チラシ、AC アダプター、電源コード、ヘッドホン・フック、専用高低自在椅子、保証書

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。

「動画マニュアル」にアクセスする。

クイック・スタート・ビデオをご覧ください。
字幕をオンにしてご覧ください。



https://roland.cm/lx-6_qs

